



第80回国民スポーツ大会
青森県準備委員会

第9回常任委員会



「アップリート君」

青の煌めき^{きら}あおもり国スポ

翔ける未来へ縄文の風に乗って 2026

令和3年2月1日（月）

ホテル青森 3階 孔雀の間

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会 第9回常任委員会資料目次

○会次第		P.1
○報告事項1	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会常任委員会常任委員 の変更について	P.2
○報告事項2	第80回国民スポーツ大会準備経過	P.3
○報告事項3	各専門委員会の審議結果	P.10
○報告事項4	第80回国民スポーツ大会開催内定等について	P.12
○報告事項5	第80回国民スポーツ大会開催予定施設名の変更等について	P.14
○報告事項6	第80回国民スポーツ大会水泳(飛込)競技会開催準備総合年次計画	P.15
○報告事項7	第80回国民スポーツ大会水泳(飛込)競技会開催基本計画	P.16
○報告事項8	第80回国民スポーツ大会馬術競技会開催準備総合年次計画	P.18
○報告事項9	第80回国民スポーツ大会馬術競技会開催基本計画	P.19
○報告事項10	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会馬術競技運営専門 委員会馬事衛生部会設置要綱	P.21
○第1号議案説明資料	第80回国民スポーツ大会開催準備総合計画(第3次)改正案 (第2次からの変更内容について)	P.23
○第1号議案	第80回国民スポーツ大会開催準備総合計画(第3次)改正案	P.28
○第2号議案	第80回国民スポーツ大会正式競技種別変更及び競技会場の変更(案)	P.31
○第3号議案	第80回国民スポーツ大会記録業務基本方針(案)	P.32
○第4号議案	第80回国民スポーツ大会デモンストラーションスポーツ会場地 市町村第四次選定(案)	P.33
○第5号議案	第80回国民スポーツ大会宿泊基本計画(案)	P.34
○第6号議案	第80回国民スポーツ大会医事・衛生基本方針(案)	P.36
○第7号議案	第80回国民スポーツ大会警備・消防防災基本方針(案)	P.37
<参考資料>		
○参考資料1	第80回国民スポーツ大会開催基本方針	P.38
○参考資料2	第80回国民スポーツ大会実施予定競技選択基本方針	P.39
○参考資料3	第80回国民スポーツ大会開催基本構想	P.40
○参考資料4	第80回国民スポーツ大会競技役員等養成基本計画	P.50
○参考資料5	第80回国民スポーツ大会公開競技実施基本方針	P.52
○参考資料6	第80回国民スポーツ大会デモンストラーションスポーツ実施基本方針	P.54
○参考資料7	第80回国民スポーツ大会競技別リハール大会開催基準要項	P.56
○参考資料8	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会組織構成図	P.58
○参考資料9	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会各専門委員会名簿	P.59
<名簿>		
○第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会常任委員会名簿		P.63

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会 第9回常任委員会 次第

日時：令和3年2月1日（月）13：30～14：30

場所：ホテル青森 3階 孔雀の間

1 開 会

○あいさつ 委員長 青森県知事 三村 申吾

2 報 告

- 報告事項1 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会常任委員会常任委員の変更について
- 報告事項2 第80回国民スポーツ大会準備経過
- 報告事項3 各専門委員会の審議結果
- 報告事項4 第80回国民スポーツ大会開催内定等について
- 報告事項5 第80回国民スポーツ大会開催予定施設名の変更等について
- 報告事項6 第80回国民スポーツ大会水泳(飛込)競技会開催準備総合年次計画
- 報告事項7 第80回国民スポーツ大会水泳(飛込)競技会開催基本計画
- 報告事項8 第80回国民スポーツ大会馬術競技会開催準備総合年次計画
- 報告事項9 第80回国民スポーツ大会馬術競技会開催基本計画
- 報告事項10 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会馬術競技運営専門委員会馬事衛生部会設置要綱

3 議 事

- 第1号議案 第80回国民スポーツ大会開催準備総合計画（第3次）改正案
- 第2号議案 第80回国民スポーツ大会正式競技種別変更及び競技会場の変更(案)
- 第3号議案 第80回国民スポーツ大会記録業務基本方針（案）
- 第4号議案 第80回国民スポーツ大会デモンストラーションスポーツ会場地
市町村第四次選定（案）
- 第5号議案 第80回国民スポーツ大会宿泊基本計画（案）
- 第6号議案 第80回国民スポーツ大会医事・衛生基本方針（案）
- 第7号議案 第80回国民スポーツ大会警備・消防防災基本方針（案）

4 閉 会

第9回常任委員会 報告事項1

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会常任委員会常任委員の変更について

令和2年7月22日から令和3年2月1日までの間における常任委員の変更については、下記のとおりである。

1 常任委員（1名）

機関・団体名及び役職	新任者	旧任者	変更年月日
公益社団法人日本青年会議所東北地区青森ブロック協議会会長	佐々木 邦和	国分 聡	令和3年1月1日

第80回国民スポーツ大会準備経過

年 月 日	内 容
平成25年 6月24日	公益財団法人青森県体育協会（以下「県体育協会」とする。）が、平成37年に開催の第80回国民体育大会本大会の招致に関する要望書を県、県議会及び県教育委員会に提出
平成26年 6月28日 ～平成27年 7月23日	県教育委員会において、青森県国体検討懇話会を設置し、「青森県らしい国体のあり方」等について検討（全6回開催）
8月26日	青森県国体検討懇話会の検討結果報告書について、同懇話会座長が知事及び教育長に報告
9月10日	平成27年度第2回青森県総合教育会議において、第80回国民体育大会本大会の招致について知事と教育委員会が協議
9月18日	平成27年9月青森県議会第283回定例会冒頭の提出議案知事説明において、知事が平成37年に開催される第80回国民体育大会本大会の本県招致について表明
10月 9日	同上定例会において、県議会が「第80回国民体育大会の招致に関する決議」を全会一致で可決
11月20日	知事、教育長、県体育協会会長が、文部科学省と公益財団法人日本体育協会に開催要望書を提出
平成28年 1月13日	公益財団法人日本体育協会理事会において、開催申請書提出順序の了解（開催内々定）
4月 1日	県教育庁スポーツ健康課内に国体準備室を設置（5名体制）
8月31日	第80回国民体育大会青森県準備委員会設立総会・第1回総会及び第1回常任委員会を開催
10月21日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回総務企画専門委員会を開催
10月25日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回競技運営専門委員会を開催
11月10日	第80回国民体育大会市町村担当者会議及び競技団体担当者会議を開催
平成29年 3月28日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回総務企画専門委員会を開催
4月 1日	国体準備室員を増員（7名体制）
4月19日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回常任委員会を開催
5月24日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回総会を開催

年 月 日	内 容
7月13日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回競技運営専門委員会を開催
7月20日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回広報・県民運動専門委員会を開催
8月30日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第1回施設専門委員会を開催
10月23日	第80回国民体育大会第1回会場市町村・競技団体担当者会議を開催
10月26日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回競技運営専門委員会を開催
11月 1日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回総務企画専門委員会を開催
12月12日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第4回総務企画専門委員会を開催
12月18日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第2回広報・県民運動専門委員会を開催
平成30年 1月15日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回常任委員会を開催
1月22日	第80回国民体育大会青森県準備委員会総務企画専門委員会第1回開催基本構想策定検討部会を開催
1月24日	第80回国民体育大会第1回公開競技・デモンストレーションスポーツ担当者会議及び第2回市町村担当者会議を開催
3月14日	第80回国民体育大会青森県準備委員会総務企画専門委員会第2回開催基本構想策定検討部会を開催
4月 1日	国体準備室員を増員（8名体制）
5月14日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第5回総務企画専門委員会を開催
5月15日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回広報・県民運動専門委員会を開催
6月 6日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第4回常任委員会を開催
7月10日	第80回国民体育大会青森県準備委員会第3回総会を開催
8月30日	第80回国民体育大会青森県準備委員会を第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会に改称

年 月 日	内 容
9月 5日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第2回施設専門委員会を開催
10月18日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第4回競技運営専門委員会を開催
11月 1日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第4回広報・県民運動専門委員会を開催
〃	国体準備室を国民スポーツ大会準備室に改称
11月16日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回総務企画専門委員会を開催
12月21日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回常任委員会を開催
平成31年 3月28日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回競技運営専門委員会を開催
4月 1日	県教育委員会から業務を移管し、県企画政策部に国民スポーツ大会準備室を設置（14名体制）
4月22日	第80回国民スポーツ大会第2回会場地市町村担当者会議を開催
令和元年 5月 9日	中央競技団体正規視察（ゴルフ）
5月10日	
5月16日	中央競技団体正規視察（卓球）
5月22日	中央競技団体正規視察（バドミントン）
5月23日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第7回総務企画専門委員会を開催
5月24日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回広報・県民運動専門委員会を開催
5月28日	中央競技団体正規視察（高等学校野球）
5月29日	
6月14日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回常任委員会を開催
6月20日	中央競技団体正規視察（カヌー）
6月20日	中央競技団体正規視察（セーリング）

年 月 日	内 容
6月26日	中央競技団体正規視察（弓道）
6月27日	中央競技団体正規視察（スポーツライミング）
7月 1日 7月 2日 7月 3日	中央競技団体正規視察（ソフトボール）
7月 3日	中央競技団体正規視察（テニス）
7月 4日 7月 5日	中央競技団体正規視察（サッカー）
7月10日 7月11日	中央競技団体正規視察（ラグビーフットボール）
7月18日	中央競技団体正規視察（ソフトテニス）
7月22日 7月23日	中央競技団体正規視察（自転車）
7月26日	中央競技団体正規視察（クレール射撃）
7月29日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第4回総会を開催
7月30日	中央競技団体正規視察（剣道）
7月30日	中央競技団体正規視察（体操）
8月 2日	中央競技団体正規視察（ホッケー）
8月 9日	中央競技団体正規視察（フェンシング）
8月15日	中央競技団体正規視察（相撲）
8月19日	中央競技団体正規視察（陸上競技）
8月23日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回宿泊専門委員会を開催
8月29日	中央競技団体正規視察（空手道）

年 月 日	内 容
8月30日	中央競技団体正規視察（なぎなた）
9月 3日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回輸送・交通専門委員会を開催
9月11日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回式典専門委員会を開催
9月26日	中央競技団体正規視察（銃剣道）
10月 8日	中央競技団体正規視察（ボート）
10月 9日 10月10日	中央競技団体正規視察（バレーボール）
10月15日	中央競技団体正規視察（ハンドボール）
10月17日	中央競技団体正規視察（レスリング）
10月23日	中央競技団体正規視察（柔道）
10月29日	中央競技団体正規視察（ウエイトリフティング）
10月30日 10月31日	中央競技団体正規視察（軟式野球）
10月31日	公益財団法人日本スポーツ協会が、知事、公益財団法人青森県スポーツ協会会長、教育長に第80回国民スポーツ大会冬季大会の開催を依頼
11月 1日	中央競技団体正規視察（アーチェリー）
11月 6日 11月 7日	中央競技団体正規視察（ライフル射撃）
11月13日	中央競技団体正規視察（ボウリング）
11月20日	中央競技団体正規視察（トライアスロン）
11月27日	中央競技団体正規視察（馬術）
11月28日	令和元年11月青森県議会第300回定例会の一般質問において知事が第80回国民スポーツ大会冬季大会を開催することについて表明
12月16日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回広報・県民運動専門委員会を開催

年 月 日	内 容
令和2年 1月14日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第7回常任委員会を開催
1月15日 1月16日	中央競技団体正規視察（バスケットボール）
2月13日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第6回競技運営専門委員会を開催
2月28日	中央競技団体正規視察（水泳・飛込）
4月 1日	国民スポーツ大会準備室員を増員（19名体制）
4月24日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第3回施設専門委員会を開催（書面決議）
5月11日	第80回国民スポーツ大会第3回会場地市町村担当者会議を開催（書面開催）
5月15日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第8回総務企画専門委員会を開催（書面決議）
5月28日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第7回広報・県民運動専門委員会を開催（書面開催）
6月 1日	知事、教育長、県スポーツ協会会長が、文部科学省と公益財団法人日本スポーツ協会に開催申請書を提出
6月 1日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第8回常任委員会を開催（書面決議）
6月26日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第7回競技運営専門委員会を開催（書面決議）
7月22日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第5回総会を開催（書面決議）
9月25日	公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、鹿児島県、及び公益財団法人日本障がい者スポーツ協会の4者が第75回鹿児島国体を令和5年に開催することを決定し、これにより第80回国民スポーツ大会（冬季大会及び本大会）を令和8年に一年延期することが決定
10月8日	公益財団法人日本スポーツ協会臨時理事会において、第80回国民スポーツ大会（冬季大会及び本大会）の開催地として内定
10月27日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回警備・消防専門委員会を開催
10月28日	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回医事・衛生専門委員会を開催

年	月	日	内 容
	12	1	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回水泳（飛込）競技運営専門委員会を開催（書面決議）
	〃		第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回馬術競技運営専門委員会を開催（書面決議）
	12	21	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回馬術競技運営専門委員会馬事衛生部会を開催（書面開催）
	12	22	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第2回宿泊専門委員会を開催
令和3年	1	13	令和2年度第2回国体開催県検討会議を開催（オンライン開催）
	1	20	第80回国民スポーツ大会第3回市町村担当者会議・第3回競技団体担当者会議を開催
	1	22	第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第9回総務企画専門委員会を開催

各専門委員会の審議結果

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会会則第13条第2項の規定に基づき、各専門委員会の審議結果について下記のとおり報告する。

○総務企画専門委員会

[第9回]

開催日時：令和3年1月22日（金）

審議事項：第80回国民スポーツ大会開催準備総合計画（第3次）改正案

第80回国民スポーツ大会正式競技種別変更及び競技会場の変更（案）

審議結果：原案のとおり決定した。

○競技運営専門委員会

[第7回]

開催日時：令和2年6月26日（金）

審議事項：第80回国民スポーツ大会記録業務基本方針（案）

第80回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ会場地

市町村第四次選定（案）

審議結果：原案のとおり決定した。

○宿泊専門委員会

[第2回]

開催日時：令和2年12月22日（火）

審議事項：第80回国民スポーツ大会宿泊基本計画（案）

審議結果：原案のとおり決定した。

○医事・衛生専門委員会

[第1回]

開催日時：令和2年10月28日（水）

審議事項：第80回国民スポーツ大会医事・衛生基本方針（案）

審議結果：原案のとおり決定した。

○警備・消防専門委員会

[第1回]

開催日時：令和2年10月27日（火）

審議事項：第80回国民スポーツ大会警備・消防防災基本方針（案）

審議結果：原案のとおり決定した。

○水泳（飛込）競技運営専門委員会

[第1回]

開催日時：令和2年12月1日（火）

審議事項：第80回国民スポーツ大会水泳（飛込）競技会開催準備総合年次計画（案）

第80回国民スポーツ大会水泳（飛込）競技会開催基本計画（案）

審議結果：原案のとおり決定した。

○馬術競技運営専門委員会

[第1回]

開催日時：令和2年12月1日（火）

審議事項：第80回国民スポーツ大会馬術競技会開催準備総合年次計画（案）

第80回国民スポーツ大会馬術競技会開催基本計画（案）

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会馬術競技運営専門委員会

馬事衛生部会設置要綱（案）

審議結果：原案のとおり決定した。

第80回国民スポーツ大会開催内定等について

1 開催内定

令和2年10月8日の公益財団法人日本スポーツ協会第3回臨時理事会において、令和7年（2025年）から1年延期し、令和8年（2026年）第80回国民スポーツ大会（冬季大会及び本大会）の開催地として内定されました。

開催内定により、本県での開催は、史上初の完全国体「あすなる国体」に続き、国民スポーツ大会として初の完全国スポとなります。

また、第25回全国障害者スポーツ大会の本県での開催も内定となりました。

2 国民体育大会開催基準要項の改定

令和2年12月10日の日本スポーツ協会第3回国民体育大会委員会において、国民体育大会開催基準要項を改定し、延期に係る取扱いが整理されました。

本大会については、国内の広範囲に及ぶ極めて特殊な事情が生じているときに限って例外的に、開催県が延期を希望する場合は、決定県及びこれに準ずる県（内定県として1度延期になった県）の後に延期することができるとされ、本県はこれに準ずる県として取り扱われることになりました。

冬季大会については、開催県が延期を希望する場合は、開催地が決定、内定又は開催申請書提出順序了解していないいずれかの年に延期することになりました。

よって、本県の冬季大会及び本大会の開催年は、令和8年（2026年）から再度延期することはありません。

3 今後の予定

令和5年の開催「決定」に向けて、万全な大会運営ができるよう、引き続き市町村や県競技団体等と連携しながら、開催へ向けた準備を進めていきます。

4 開催内定に伴う各種方針等の改正

令和7年から1年延期し、令和8年での開催が内定となったこと及び改元等に伴い、これまで決定した各種基本方針等について、別紙のとおり所要の改正を行うこととします。

これまでに決定した基本方針等の改正について

方 針 等	改正の内容
第80回国民スポーツ大会開催基本方針	「48年ぶり」を「49年ぶり」に置き換える。
第80回国民スポーツ大会実施予定競技選択基本方針	「青森県体育協会」を「青森県スポーツ協会」へ、「県体協」を「県スポ協」へ名称変更する。
第80回国民スポーツ大会開催基本構想	「48年ぶり」を「49年ぶり」に、「2025年」を「2026年」に、「2023年」を「2024年」に置き換える。
第80回国民スポーツ大会競技役員等養成基本計画	4の「養成実施年次計画」を「令和8年」までに1年延長する。
第80回国民スポーツ大会公開競技実施基本方針	「平成37年」を「令和8年」に置き換える。
第80回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ実施基本方針	「平成37年」を「令和8年」に置き換える。
第80回国民スポーツ大会競技別リハーサル大会開催基準要項	「令和6年度」を「令和7年度」に置き換える。

※基本方針等は、参考資料1～7に本文を掲載しています。

第80回国民スポーツ大会開催予定施設名の変更等について

第80回国民スポーツ大会の会場地として選定した開催予定施設名に変更等があったことから下記のとおり報告する。

1 変更した開催予定施設名

市町村名	競技・種目名		開催予定施設名	
			変更前	変更後
むつ市	バスケットボール	成年女子	むつ市総合アリーナ	むつマエダアリーナ
	フェンシング	全種別		
東北町	ソフトボール	少年男子	東北町南総合運動公園	東北町南総合運動公園 ソフトボール場 東北町南総合運動公園 野球場

2 名称が決定した開催予定施設名

市町村名	競技・種目名		開催予定施設名	
			変更前	変更後
十和田市	相撲	全種別	(仮称) 十和田市屋内 グラウンド	十和田市屋内グラウンド

第9回常任委員会 報告事項6

第80回国民スポーツ大会 水泳（飛込）競技会開催準備総合年次計画

項目		年度	令和2年度 (6年前)	令和3年度 (5年前)	令和4年度 (4年前)	令和5年度 (3年前)	令和6年度 (2年前)	令和7年度 (1年前)	令和8年度 (開催年)		
主要スケジュール			開催予定			総合視察 開催決定・会期決定		リハ-サル大会			
準備組織等			国民スポーツ大会準備室 県準備委員会 水泳（飛込）競技運営専門委員会設置			県実行委員会設置	県外事務所設置		実施本部設置		
			概ね年1回開催（必要に応じて開催）								
総務 企画 総務 企画 施設 競技運営 宿泊衛生 輸送交通	総務	開催方針等	開催準備総合年次計画 競技会開催基本計画								
		連絡調整		実施計画	関係機関との連絡調整						
	広報	広報		広報	多様なメディアの活用、のぼり・横断幕等の設置（競技会場、市町村等関係機関） 地域行事等各種イベントへの参加による広報 県ホームページ、市広報誌等による広報						
		報道・記録			報道機関との調整・取材協力、開催記録の収集・編集等						
		接伴		おもてなし	案内所、休憩所、売店、歓迎装飾の検討 設置 観光案内、物産販売等の検討 設置						
	施設	会場管理		施設整備	会場レイアウト、仮設整備等検討						
		仮設施設			仮設整備検討（設計）	仮設施設整備	会場管理・環境美化検 マニュアル等の検討・作成				
		通信施設			通信体制検討	通信施設設備					
		競技用具			競技用具整備調査	用具整備詳細検討	競技用具整備				
	競技運営	競技役員		競技運営式典	競技役員等編成調査・検討						
競技記録			競技別会期決定		競技別実施要項検討・作成	競技別プログラム作成	役員必携の作成 ボランティア募集、競技会係員、補助員の編成				
式典					表彰式等検討	式典要領、マニュアル検討・作成					
リハ-サル大会			リハ-サル大会決定		リハ-サル大会実施要項作成	リハ-サル大会	検証				
宿泊衛生	宿泊		宿泊・医事・衛生	業者委託（配宿計画、配宿名簿等）							
	弁当			弁当調達計画	納入業者の決定						
	医事			医療救護体制検討	医師会等との協議						
	衛生			食品衛生・環境衛生検討	保健所等との協議						
輸送交通	輸送		輸送交通・警備・消防防災	輸送計画・必要車両検討							
	交通			必要駐車場数検討	管理者等との協議						
	警備			警備体制検討	警察署等との協議						
	消防防災			消防防災体制検討	消防署等との協議						

青の煌めきあおもり国スポ 水泳（飛込）競技会 開催

第80回国民スポーツ大会水泳（飛込）競技会 開催基本計画

第80回国民スポーツ大会水泳（飛込）競技会（以下「競技会」という。）は、公益財団法人日本スポーツ協会の定める国民体育大会開催基準要項、同細則、第80回国民スポーツ大会開催基本方針及び同基本構想に基づき、スポーツによる地域活性化や健康づくり、次代を担う子供たちに夢や希望を与えるなど、新たな活力を創出するものとする。

競技会は、宮城県総合運動公園 G21 総合プールにおいて開催されることから、宮城県、利府町及び関係機関・団体等との連携を図り、簡素・効率的な運営に取り組むとともに、青森県、宮城県双方の水泳（飛込）競技の普及・振興に資することを旨とする。

1 総務企画関係

(1) 総務

競技会開催に向けて、現地事務所及び実施本部を設置し、競技会開催準備及び運営に万全を期するとともに、必要に応じ利府町において競技会補助員（ボランティア）等の募集を行う。

(2) 広報

競技会開催に向けて地域の理解と協力が得られるよう、各種イベントや広報媒体を計画的かつ効果的に活用し、広報活動を展開する。

(3) おもてなし

特産品、土産品等の販売や観光パンフレット活用等により、宮城県、利府町及び青森県の魅力を紹介するとともに、競技会参加者等を温かく迎え、心のこもったおもてなしを行う。

(4) 施設

国民体育大会開催基準要項の施設基準を踏まえ、安全で円滑な競技会運営のために必要な仮設等の会場整備に努める。

2 競技式典関係

(1) 競技運営

青森県及び宮城県の競技団体との連携の下、審判員等の編成・研修等の競技運営に必要な諸条件の整備を図る。

また、既存の大会を活用したりハーサル大会の開催について検討するなど、万全な運営体制の確立を図る。

(2) 式典

開始式及び表彰式は、競技会運営に支障をきたさない範囲で効率よく実施する。

3 宿泊衛生関係

(1) 宿泊

競技会参加者の会場までの交通上の利便等を考慮し、宿泊施設の確保を図るとともに、衛生面に配慮し、栄養面にも調和のとれた食事の提供に努める。

(2) 医事・衛生

競技会参加者等の傷病の発生に速やかに対処するため、応急処置及び医療機関への移送等の医療救護体制を整備する。

また、競技会場及び宿泊施設等における食品衛生及び環境衛生対策に万全を期する。

4 輸送交通関係

(1) 輸送・交通

競技会会場周辺の道路及び交通状況を考慮し、必要に応じて計画輸送を検討するとともに、会場周辺に駐車場を確保する。

(2) 警備・消防防災

警備・消防防災体制を確立し、競技会場、宿泊施設等における災害の防止と非常時における緊急体制に万全を期する。

第80回国民スポーツ大会 馬術競技会開催準備総合年次計画

年度 (逆年)	令和2年度 (6年前)	令和3年度 (5年前)	令和4年度 (4年前)	令和5年度 (3年前)	令和6年度 (2年前)	令和7年度 (1年前)	令和8年度 開催年		
主要スケジュール	開催内定			総合視察 開催決定・会期決定					
準備組織等	国民スポーツ大会 準備室 県準備委員会 馬術競技運営 専門委員会設置 馬事衛生部会設置			県実行委員会設置	県外事務所設置		実施本部設置		
		概ね年1回開催(必要に応じて開催。)							
総務	方針・計画等	馬術競技会開催準備 年次計画	馬術競技会期検討	リハーサル大会の検討		競技会における諸業務の実務必携の検討			
		馬術競技会開催 基本計画	開催実施計画		諸業務の実施体制	競技会実施本部の編成検討			
		馬事衛生部会 設置要綱			開催県業務視察・情報及び資料収集		実施本部人員配置計画		
連絡調整		実施本部体制の検討					実施本部人員配置計画		
総務企画	広報		関係機関及び団体との連絡調整・協議						
		広報	各種広報媒体活用、周知グッズの配布(競技会場、関係機関等)						
	報道・記録		地域行事、地域団体等の各種イベントへの参画による広報						
	案内所等 おもてなし 観光・物産	おもてなし	WEBサイト(県HP)、市広報紙等による広報						
施設	会場管理	会場管理	報道機関との調整・取材協力、開催記録の収集・編集等						
		仮設施設	仮設整備	施設整備の検討	会場管理・環境美化検討	案内所・休憩所等の検討	案内所・休憩所 等の設置	リハーサル大会	
	通信施設	仮設整備	仮設設置の検討	通信体制検討	マニュアル等の作成	マニュアル等 の訂正	仮設施設整備		
競技式典	競技用具	競技用具	競技用具整備調査	競技用具整備検討・整備・配置					通信施設整備
		競技役員	競技役員編成調査・検討	競技役員・補助員編成					役員必携の作成
	式典	ボランティヤ確保の検討	地元ボランティヤ募集、競技会係員、補助員の編成						
		競技プログラム	競技会日程検討	競技別実施要項検討・作成					競技別プログラム作成
宿泊衛生	宿泊	宿泊	表彰式の検討					式典要項・マニュアル検討・作成	
		弁当	仮配宿計画・配宿名簿作成、宿泊意向調査、配宿						
	医事 衛生	医事	弁当調達計画					納入業者決定	
		衛生	医療救護体制検討					医師会等との協議	
	馬事衛生	馬事衛生	馬事衛生業務 年次計画	馬事衛生業務整理	馬事衛生本部体制検討	馬事衛生対策要項検討	馬事衛生本部人員配置の検討	馬事衛生業務研修	馬事衛生本部設置
輸送交通	輸送 交通	会場地輸送	先催県国体(スポ)馬術競技及び山梨県馬術競技場開催全国大会視察						
		駐車場	開催県畜産系課連携協力						
	警備 消防 防災	警備	輸送交通	輸送計画・必要車両検討					警察署、関係者との協議
		消防防災	警備・ 消防防災	必要駐車場数検討					管理者等との協議
			警備体制検討					警察署との協議	
			消防防災体制検討					消防署との協議	

青の煌めきあおもり国スポ 馬術競技会 開催

第80回国民スポーツ大会馬術競技会 開催基本計画

第80回国民スポーツ大会馬術競技会（以下「競技会」という。）は、公益財団法人日本スポーツ協会の定める国民体育大会開催基準要項、同細則、第80回国民スポーツ大会開催基本方針及び同基本構想に基づき、スポーツによる地域活性化や健康づくり、次代を担う子どもたちに夢や希望を与えるなど、新たな活力を創出するものとする。

競技会は、山梨県馬術競技場において開催されることから、山梨県、北杜市及び関係機関・団体等との連携を図り、簡素・効率的な運営に取り組むとともに、青森県、山梨県双方の馬術競技の普及・振興に資することを目指す。

1 総務企画関係

(1) 総務

競技会開催に向けて、現地事務所及び実施本部を設置し、競技会開催準備及び運営に万全を期するとともに、必要に応じ北杜市において競技会補助員（ボランティア）等の募集を行う。

(2) 広報

競技会開催に向けて地域の理解と協力が得られるよう、各種イベントや広報媒体を計画的かつ効果的に活用し、広報活動を展開する。

(3) おもてなし

特産品、土産品等の販売や観光パンフレット活用等により、山梨県、北杜市及び青森県の魅力を紹介するとともに、競技会参加者等を温かく迎え、心のもったおもてなしを行う。

2 施設関係

(1) 施設

国民体育大会開催基準要項の施設基準を踏まえ、安全で円滑な競技会運営のために必要な仮設等の会場整備に努める。

3 競技式典関係

(1) 競技運営

青森県及び山梨県の競技団体との連携の下、審判員等の編成・研修等の競技運営に必要な諸条件の整備を図る。

また、既存の大会を活用したりハーサル大会の開催について検討するなど、万全な運営体制の確立を図る。

(2) 式典

開始式及び表彰式は、競技会運営に支障をきたさない範囲で効率よく実施する。

4 宿泊衛生関係

(1) 宿泊

競技会参加者の会場までの交通上の利便等を考慮し、宿舍の確保を図るとともに、衛生面に配慮し、栄養面の調和がとれた食事の提供に努める。

(2) 医事・衛生

競技会参加者等の傷病の発生に速やかに対処するため、応急処置及び医療機関への移送等の医療救護体制を整備する。

また、競技会場及び宿泊施設等における食品衛生及び環境衛生対策に万全を期する。

(3) 馬事衛生

馬術競技の円滑な運営に寄与するため、出場馬の防疫、健康管理、輸送及び飼料の確保等に万全を期する。

5 輸送交通関係

(1) 輸送・交通

競技会会場周辺の道路及び交通状況を考慮し、必要に応じて計画輸送を検討するとともに、会場周辺に駐車場を確保する。

(2) 警備・消防防災

警備・消防防災体制を確立し、競技会場、宿泊施設等における災害の防止と非常時における緊急体制に万全を期する。

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会
馬術競技運営専門委員会 馬事衛生部会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会専門委員会規程第5条第1項の規定に基づき、馬術競技運営専門委員会（以下「専門委員会」という。）の部会の設置および運営に関し、必要な事項を定めるものとする。

(部会の名称及び付託事項)

第2条 部会の名称並びに専門委員会からの付託事項及び委任事項は、別表のとおりとする。

(役員)

第3条 部会に次の役員を置く。

(1) 部会長 1名

(2) 副部会長 1名

2 部会の役員については、専門委員会委員長が指名する。

3 部会長は、部会を代表し、会務を総理する。

4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故があるとき又は欠けたときは副部会長がその職務を代理する。

(任期)

第4条 部会委員の任期は、委嘱されたときから部会の目的が達成されたときまでとする。ただし、部会委員が就任時におけるそれぞれの所属機関又は団体等の役職を離れた場合は、その部会委員は辞任したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

(会議)

第5条 部会の会議は、部会長が招集し、部会長が議長となる。

2 部会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

3 部会は、付託事項を審議したときは、その結果を専門委員会に報告するものとする。

4 部会長は、災害その他やむを得ないと認められる場合又は軽易な事項については、書面による議決を求め、これをもって部会に代えることができる。

5 部会長が必要と認めるときは、部会委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(委任)

第6条 この要綱に定めるもののほか、部会の運営に関し必要な事項は、部会長が専門委員会委員長の承認を得て別に定める。

附 則

この要綱は、令和2年12月1日から施行する。

別表（第2条関係）

名 称	付 託 事 項	委 任 事 項
馬事衛生部会	1 馬事衛生の基本的事項に関すること 2 その他馬事衛生に係る重要な事項に関すること	1 出場馬の健康検査及び防疫に関すること 2 出場馬の診断及び装蹄に関すること 3 厩舎の衛生管理に関すること 4 飼料、敷料に関すること 5 出場馬の輸送及び入退厩に関すること 6 馬運車等の消毒に関すること 7 救護獣医師、装蹄師の確保に関すること 8 馬事衛生物品の調達に関すること 9 馬事衛生対策開催県連携に関すること 10 その他馬事衛生に関すること

第80回国民スポーツ大会開催準備総合計画（第3次）改正案
（第2次からの改正内容について）

1 目的

第4回総会（令和元年7月29日開催）で決定した第80回国民スポーツ大会開催準備総合計画（第2次）について、令和8年（2026年）第80回国民スポーツ大会（冬季大会及び本大会）の開催内定により、これまでの進捗状況や情報収集した内容を反映し、今後の準備推進に資するために次の内容のとおり改正を行う。

2 改正内容

項目	第2次	第3次	変更等の理由
開催手続	(なし)	令和2年度（開催6年前）「内定書受領（冬季大会及び本大会）」、令和7年度（開催1年前）に「冬季大会開催」を追加	令和2年10月8日付けの内定書受領のため
準備委員会組織	令和4年度（開催3年前）「県外開催競技会運営委員会」	「水泳（飛込）競技運営専門委員会」、「馬術競技運営専門委員会」へ修正し、令和2年度（開催6年前）へ移動	水泳（飛込）及び馬術競技運営専門委員会の設置のため
	(なし)	令和5年度（開催3年前）「障害者スポーツ大会運営専門委員会」を追加	障害者スポーツ大会の開催内定のため
全体計画	令和4年度（開催3年前）「開催準備総合計画（3次）」	令和2～3年度（開催6～5年前）へ移動し、令和5年度（開催3年前）「開催準備総合計画（4次）」を追加	開催準備総合計画変更のため
総務企画（文化プログラム）	令和4～6年度（開催3～1年前）「文化プログラム実施計画・実施要項・募集」	令和4年度（開催4年前）「文化プログラム実施計画」、令和5年度（開催3年前）「文化プログラム実施要項」、令和6年度（開催2年前）「文化プログラム募集」に修正し、移動	進捗状況及び業務計画の精査

項目	第2次	第3次	変更等の理由
競技運営 (競技運営)	令和4年度(開催3年前) 「記録関係業務基本計画」 令和5年度(開催2年前) 「記録関係業務運営要綱」	令和3年度(開催5年前) 「記録業務基本計画」へ統 合し移動	進捗状況及び業務 計画の精査
	令和3年度(開催4年前) 「リハーサル大会開催基 準要項」	令和元年度(開催7年前) へ移動	実績を反映
	(なし)	令和4年度(開催4年前) 「自衛隊協力要請基本方 針」を追加	業務計画の明確化
	(なし)	令和5年度(開催3年前) 「自衛隊要請基本計画」、 「デモスポ実施基準要項」 を追加	業務計画の明確化
	(なし)	令和6年度(開催2年前) 「大会実施要項総則」、「県 記録本部設置要項」、を追 加	業務計画の明確化
競技運営 (競技用具)	令和元～2年度(開催6～ 5年前)「競技用具整備計 画」	令和2～5年度(6～3年 前)まで延長	進捗状況及び業務 計画の精査
	令和3～6年度(開催4～ 1年前)「競技用具整備の 推進」	令和6～8年度(開催2～ 開催年)へ移動	進捗状況及び業務 計画の精査
施設(競 技・式典会 場)	令和2～3年度(開催5～ 4年前)「競技施設整備計 画」	令和2～7年度(開催6～ 1年前)まで延長	進捗状況及び業務 計画の精査
施設(情報 通信)	令和3年度(開催4年前) 「情報通信基本方針」	令和5年度(開催3年前) 「情報通信基本計画」へ統 合	進捗状況及び業務 計画の精査
	令和7年度(開催年)「情報 通信本部」	令和8年度(開催年)「会 場管理本部」へ修正	進捗状況及び業務 計画の精査

項目	第2次	第3次	変更等の理由
広報・県民運動（県民運動）	令和2～7年度（開催5～開催年）「県民運動の推進（各種媒体の作成及び配布、花いっぱい運動等の実施団体の支援など）」	令和2～8年度（開催6～開催年）「県民運動の推進（各種媒体の作成及び配布、県民運動実施団体の支援など）」へ修正	進捗状況及び業務計画の精査
宿泊（宿泊）	令和元～2年度（開催6～5年前）「宿泊関連施設基礎調査」	「宿泊施設実態調査」へ修正し、令和2～3年度（開催6～5年前）へ移動	進捗状況及び業務計画の精査
	令和3～6年度（開催4～1年前）「宿泊準備の推進（総合配宿計画、広域配宿及び民泊基本計画等）」	令和3～7年度（開催5～1年前）「配宿業務準備の推進（仮配宿、充足対策など）」へ修正	進捗状況及び業務計画の精査
	令和4年度（開催3年前）「標準献立作成方針」	令和5年度（開催3年前）「食事提供方針」へ修正	進捗状況及び業務計画の精査
	令和5年度（開催2年前）「標準献立普及実施要領」	（削除）	進捗状況及び業務計画の精査
	令和6年度（開催1年前）「標準献立普及講習」	（削除）	進捗状況及び業務計画の精査
医事・衛生（医事・衛生）	令和4年度（開催3年前）「医療救護要項」	令和5～6年度（開催3～2年前）まで延長	進捗状況及び業務計画の精査
	令和4～6年度（開催3～1年前）「医事・衛生準備の推進（食品衛生、環境衛生、馬事衛生、防疫対策等）」	令和5～7年度（開催3～1年前）「医事・衛生業務準備の推進（医療救護、防疫対策、食品衛生、環境衛生など）」へ修正	進捗状況及び業務計画の精査
	令和7年度（開催年）「救護本部・救護所」	令和8年度（開催年）「救護本部」へ修正	進捗状況及び業務計画の精査
輸送・交通（輸送・交通）	令和4年度（開催3年前）「全国輸送基礎調査」	（削除）	進捗状況及び業務計画の精査
	令和5～6年度（開催2～1年前）「交通規制計画」	令和6～7年度（開催2～1年前）「開・閉会式輸送実施計画」へ統合	進捗状況及び業務計画の精査

項目	第2次	第3次	変更等の理由
輸送・交通 (輸送・交通)	令和4～6年度(開催3～1年前)「全国輸送計画・会場地輸送調整」	「全国輸送計画」を令和6～7年度(開催2～1年前)「開・閉会式輸送実施計画」へ統合し削除 「会場地輸送調整」を令和4～7年度(開催4～1年前)まで延長	進捗状況及び業務計画の精査
	令和7年度(開催年)の「輸送本部」	令和8年度(開催年)「総合輸送本部」へ修正	進捗状況及び業務計画の精査
式典(式典)	令和3年度(開催4年前)「式典基本計画」	令和3～4年度(開催5～4年前)へ修正	進捗状況及び業務計画の精査
	(なし)	令和5～6年度(開催3～2年前)「式典実施計画」、令和7年度(開催1年前)「式典実施要項」、令和8年度(開催年)「式典運営業務マニュアル」を追加	業務計画の明確化
警備・消防 (警備・消防)	令和2年度(開催5年前)「警備・消防・防災基本方針・基本計画」	「警備・消防防災基本方針」と「警備・消防防災基本計画」に分け、「警備・消防防災基本計画」を令和3年度(開催5年前)へ移動	進捗状況及び業務計画の精査
	(なし)	令和4年度(開催4年前)「市町村業務推進指針」を追加	業務計画の明確化
	令和3～6年度(開催4～1年前)「警備・消防・防災準備の推進(関係機関との協力体制構築、業務指針、マニュアル等の作成など)」	「警備・消防防災業務準備の推進(業務実施計画、マニュアル作成など)」へ修正し、令和5～7年度(開催3～1年前)へ移動	進捗状況及び業務計画の精査
	開催年の「警備本部」及び「消防・防災本部」	「警備消防防災本部」へ統合し修正	進捗状況及び業務計画の精査

項目	第2次	第3次	変更等の理由
水泳（飛込）競技運営（水泳（飛込））	（なし）	令和2年度（開催6年前） 「水泳（飛込）競技開催準備総合年次計画」、「水泳（飛込）競技会開催基本計画」、令和3～8年（開催5～開催年）「関係機関への協力依頼、連絡調整」を追加	実績及び今後の業務計画を反映
馬術競技運営（馬術）	（なし）	令和2年度（開催6年前） 「馬術競技会開催準備総合年次計画」、「馬術競技会開催基本計画」、令和3年度（開催5年前）「馬事衛生年次計画」、令和3～8年（開催5～開催年）「関係機関への協力依頼、連絡調整」、令和6～7年度（開催2～1年前）「馬事衛生対策要項」を追加	実績及び今後の業務計画を反映

年度 逆年	平成28年度(2016) (開催10年前)内々定	平成29年度(2017) (開催9年前)	平成30年度(2018) (開催8年前)	令和元年度(2019) (開催7年前)	令和2年度(2020) (開催6年前)内定	令和3年度(2021) (開催5年前)	令和4年度(2022) (開催4年前)	令和5年度(2023) (開催3年前)決定	令和6年度(2024) (開催2年前)	令和7年度(2025) (開催1年前)	令和8年度(2026) (開催年)	
開催手続	開催要書提出 (平成27年11月20日)			中央競技団体視察 県議会開催決議(H32.2)	開催申請書提出 (日本スポーツ協会・文科省) 内定書受領 (冬季大会及び本大会)			日本スポーツ協会・文科省視察 決定書受領(会期確定)		冬季大会開催 中央競技団体視察		
準備組織等	県 国体準備室【教育委員会】 庁内連絡調整会議		国民スポーツ大会準備室 (H30.11)【教育委員会】	国民スポーツ大会準備室 【知事部局】	業務の増加・細分化に応じて段階的に組織を拡充						県行幸啓本部	大会実施本部 警衛本部
	市町村 市町村担当者会議				会場地市町村国スポ準備委員会(随時設置)						会場地市町村国スポ実行委員会	市町村競技会実施本部
	競技団体 競技団体担当者会議	競技運営計画・ 競技役員等養成計画の作成			競技役員等養成の推進							
準備委員会 組織	国体準備委員会 総会 常任委員会 総務企画専門委員会 競技運営専門委員会		国民スポーツ大会へ改称 (H30.8)					国民スポーツ大会・ 全国障害者スポーツ大会 実行委員会				
		施設専門委員会 広報・県民運動 専門委員会		宿泊専門委員会 輸送・交通専門委員会 式典専門委員会	医事・衛生専門委員会 警備・消防専門委員会	全国障害者スポーツ大会との連携		障害者スポーツ大会 運営専門委員会				
				水泳(飛込)競技運営専門委員会 馬術競技運営専門委員会								
全体計画	開催基本方針等	開催準備総合計画 (1次)	開催基本構想策定	開催準備総合計画 (2次)	開催準備総合計画 (3次)			開催準備総合計画 (4次)				
総務企画	会場地選定 経費負担	会場地市町村選定基本方針 会場地市町村選定基準 県及び会場地市町村の 業務分担・経費負担基本方針	正式競技、特別競技、公開競技、 開・閉会式 会場地市町村選定(数次)	中央競技団体視察	開催会場地の内定			日スポ協・文科省視察 開催会場地の決定				
	文化プログラム	会場地及び市町村への意向調査・ヒアリング				文化プログラム基本方針	文化プログラム実施計画	文化プログラム実施要項	文化プログラム募集		文化プログラムの実施	
	行幸啓関係							警衛基本方針・基本計画	警衛等実施計画、日程等調整		日程の最終調整	
	総合案内							総合案内基本方針	総合案内準備の推進		総合案内	
競技運営	競技運営	競技役員等養成基本方針 競技役員等編成基本方針 競技役員等養成基本方針	競技役員等養成事業 実施予定競技 選択基本方針 公開競技実施基本方針 デモンstrーションスポーツ 実施基本方針	リハーサル大会 開催基本要項	記録業務基本方針	記録業務基本計画	自衛隊協力要請基本方針	自衛隊要請基本計画 デモスポ実施基準要項	大会実施要項総則 県記録本部設置要項	競技役員等編成 リハーサル大会 実施本部	総監督会議 記録本部 総合・競技別 プログラム	
	競技用具		競技運営基本方針	デモンstrーションスポーツ実施競技選定	競技用具整備計画						競技用具整備の推進	
施設	競技・式典会場	競技施設整備基本方針 競技施設基準		競技施設整備調査	競技施設整備計画						県・市町村の競技施設及び式典会場整備の推進	
	情報通信							情報通信基本計画	情報通信システムの調整		会場管理本部	
広報・ 県民運動	広報		広報基本方針・基本計画					広報活動の推進(ホームページ、広報誌、ポスター、懸垂幕、横断幕、記録映像等)			全国報道者会議 報道本部	
	県民運動			愛称、スローガン、マスコットキャラクター、イメージソング等				開催決定イベント	開催1年前イベント			
	県民運動		県民運動基本方針	県民運動基本計画				県民運動の推進(各種媒体の作成及び配布、県民運動実施団体の支援など)				
宿泊	宿泊		宿泊施設基礎調査	宿泊基本方針	宿泊基本計画	宿泊施設実態調査		配宿業務準備の推進(仮配宿、充足対策など)		ボランティアの募集・養成 宿泊料金決定	宿泊要項 宿泊本部	
医事・ 衛生	医事・衛生				医事・衛生基本方針	医事・衛生基本計画	医事・衛生対策各種要項	医療救護要項 医事・衛生業務準備の推進(医療救護、防疫対策、食品衛生、環境衛生など)			救護本部	
輸送・ 交通	輸送・交通			輸送・交通基本方針	輸送・交通基本計画	輸送・交通業務指針		開・閉会式輸送実施計画			総合輸送本部	
								会場地輸送調整				
式典	式典			式典基本方針	式典基本構想	式典基本計画		式典実施計画	式典実施要項		式典運営業務マニュアル 式典本部	
	会場						会場管理基本方針	会場管理基本計画	会場管理体制の整備			
警備・ 消防	警備・消防				警備・消防防災基本方針	警備・消防防災基本計画	市町村業務推進指針	警備・消防防災業務準備の推進(業務実施計画、マニュアル作成など)			警備消防防災本部	
水泳 (飛込)競 技運営	水泳(飛込)				水泳(飛込)競技開催準備 総合年次計画	水泳(飛込)競技会開催 基本計画		関係機関への協力依頼、連絡調整				
馬術競 技運営	馬術				馬術競技会開催準備 総合年次計画	馬術競技会開催 基本計画	馬事衛生年次計画	馬事衛生対策要項				
								関係機関への協力依頼、連絡調整				
募金・協賛	募金・協賛						国スポ募金・企業協賛 推進基本方針	国スポ募金・企業協賛 推進要項	国スポ募金・企業協賛活動の推進			
開催県	岩手県	愛媛県	福井県	茨城県			三重県	栃木県	鹿児島県	佐賀県	滋賀県	青森県

最終総会
解散

大会報告書

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会

リハーサル大会

※改正内容赤色

第80回国民スポーツ大会開催準備総合計画(第3次)改正案

参考 1

年度 逆年	平成28年度(2016) (開催10年前)内々定	平成29年度(2017) (開催9年前)	平成30年度(2018) (開催8年前)	令和元年度(2019) (開催7年前)	令和2年度(2020) (開催6年前)内定	令和3年度(2021) (開催5年前)	令和4年度(2022) (開催4年前)	令和5年度(2023) (開催3年前)決定	令和6年度(2024) (開催2年前)	令和7年度(2025) (開催1年前)	令和8年度(2026) (開催年)	
開催手続	開催要望書提出 (平成27年11月20日)			中央競技団体視察 県議会開催決議(H32.2)	開催申請書提出 (日本スポーツ協会・文科省) 内定書受領 (冬季大会及び本大会)			日本スポーツ協会・文科省視察 決定書受領(会期確定)		冬季大会開催 中央競技団体視察		
準備組織等	県	国体準備室 【教育委員会】 庁内連絡調整会議		国民スポーツ大会準備室 (H30.11)【教育委員会】	国民スポーツ大会準備室 【知事部局】	業務の増加・細分化に応じて段階的に組織を拡充				県庁幸啓本部	大会実施本部 警備本部	
	市町村	市町村担当者会議				会場地市町村国スポ準備委員会(随時設置)			会場地市町村国スポ実行委員会		市町村競技会実施本部	
	競技団体	競技団体担当者会議	競技運営計画・ 競技役員等養成計画の作成		競技役員等養成の推進							
準備委員会組織	国体準備委員会 総会 常任委員会 総務企画専門委員会 競技運営専門委員会	施設専門委員会 広報・県民運動 専門委員会	国民スポーツ大会へ改称 (H30.8)	宿泊専門委員会 輸送・交通専門委員会 式典専門委員会	医事・衛生専門委員会 警備・消防専門委員会 水泳(飛込)競技運営専門委員会 馬術競技運営専門委員会	全国障害者スポーツ大会との連携		国民スポーツ大会・ 全国障害者スポーツ大会 実行委員会	障害者スポーツ大会 運営専門委員会		最終総会 解散	
全体計画	開催基本方針等	開催準備総合計画 (1次)	開催基本構想策定	開催準備総合計画 (2次)	開催準備総合計画 (3次)	開催準備総合計画 (4次)					大会報告書	
県準備委員会 (実行委員会)	総務企画	会場地選定 経費負担	会場地市町村選定基本方針 会場地市町村選定基準 県及び会場地市町村の 業務分担・経費負担基本方針	正式競技、特別競技、公開競技、 開・閉会式 会場地市町村選定(数次)	中央競技団体視察	開催会場地の内定		日スポ協・文科省視察 開催会場地の決定				
		文化プログラム	競技団体及び市町村への意向調査・ヒアリング				文化プログラム基本方針	文化プログラム実施計画	文化プログラム実施要項	文化プログラム募集	文化プログラムの実施	
		行幸啓関係							警備基本方針・基本計画	警備等実施計画、日程等調整	日程の最終調整	
	競技運営	競技運営	競技役員等養成基本計画 競技役員等編成基本方針 競技役員等養成基本方針	競技役員等養成事業 実施予定競技 選択基本方針 競技運営基本方針	公開競技実施基本方針 デモンstrーションスポ ーツ実施基本方針	リハール大会 開催基準要項	記録業務基本方針	記録業務基本計画	自衛隊協力要請基本方針	自衛隊要請基本計画 デモスポ実施基準要項	大会実施要項総則 県記録本部設置要項	競技役員等編成 リハール大会 実施本部
		競技用具		競技用具整備基本方針	デモンstrーションスポ ーツ実施競技選定		競技用具整備計画		競技用具整備の推進			
	施設	競技・式典会場	競技施設整備基本方針 競技施設基準		競技施設整備調査		競技施設整備計画		県・市町村の競技施設及び式典会場整備の推進			
		情報通信							情報通信基本計画	情報通信システムの調整	会場管理本部	
	広報・ 県民運動	広報		広報基本方針・基本計画		広報活動の推進(ホームページ、広報誌、ポスター、懸垂幕、横断幕、記録映像等)					全国報道者会議 報道本部	
		県民運動			愛称、スローガン、マスコットキャラクター、イメージソング等				開催決定イベント	開催1年前イベント		
	宿泊	宿泊			宿泊施設基礎調査	宿泊基本方針	宿泊基本計画	宿泊施設実態調査	配宿業務準備の推進(仮配宿、充足対策など)		泊料決定 宿泊要項	宿泊本部
		医事・ 衛生	医事・衛生				医事・衛生基本方針	医事・衛生基本計画	医事・衛生対策各種要項	医療救護要項 医事・衛生業務準備の推進(医療救護、防疫対策、食品衛生、環境衛生など)		救護本部
	輸送・ 交通	輸送・交通			輸送・交通基本方針	輸送・交通基本計画	輸送・交通業務指針			開・閉会式輸送実施計画		総合輸送本部
		式典	式典		式典基本方針	式典基本構想	式典基本計画		式典実施計画	式典実施要項 式典準備の推進(式典演技、式典音楽、炬火リレー、リハール等)		式典運営業務マニュアル 式典本部
	警備・ 消防	警備・消防					警備・消防防災基本方針	警備・消防防災基本計画	市町村業務推進指針	警備・消防防災業務準備の推進(業務実施計画、マニュアル作成など)		警備消防防災本部
		水泳 (飛込)競 技運営	水泳(飛込)				水泳(飛込)競技開催準 備総合年次計画 水泳(飛込)競技会開催 基本計画			関係機関への協力依頼、連絡調整		
	馬術競 技運営	馬術					馬術競技会開催準備 総合年次計画 馬術競技会開催 基本計画		馬術衛生年次計画	馬術衛生対策要項		
		馬術								関係機関への協力依頼、連絡調整		
募金・協賛	募金・協賛					国スポ募金・企業協賛 推進基本方針	国スポ募金・企業協賛 推進要項		国スポ募金・企業協賛活動の推進			
開催県	岩手県	愛媛県	福井県	茨城県		三重県	栃木県	鹿児島県	佐賀県	滋賀県	青森県	

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会

第80回国民スポーツ大会開催準備総合計画(第2次)

参考 2

令和元年7月29日
第4回総会 改正

年度 逆年	平成28年度(2016) (開催9年前)内々定	平成29年度(2017) (開催8年前)	平成30年度(2018) (開催7年前)	令和元年度(2019) (開催6年前)	令和2年度(2020) (開催5年前)内定	令和3年度(2021) (開催4年前)	令和4年度(2022) (開催3年前)決定	令和5年度(2023) (開催2年前)	令和6年度(2024) (開催1年前)	令和7年度(2025) (開催年)	
開催手続	開催要望書提出 (平成27年11月20日)			中央競技団体視察 県議会開催決議(H32.2)	開催申請書提出 (日本スポーツ協会・文科省)		日本スポーツ協会・文科省視察 決定書受領(会期確定)		中央競技団体視察		
準備組織等	県	国体準備室【教育委員会】 庁内連絡調整会議		国民スポーツ大会準備室(H30.11)【教育委員会】	国民スポーツ大会準備室【知事部局】	業務の増加・細分化に応じて段階的に組織を拡充			県行幸啓本部	大会実施本部 警備本部	
	市町村	市町村担当者会議			会場地市町村国スポ準備委員会(随時設置)	会場地市町村国スポ実行委員会			市町村競技会実施本部		
	競技団体	競技団体担当者会議	競技運営計画・ 競技役員等養成計画の作成		競技役員等養成の推進						
準備委員会組織	国体準備委員会 総会 常任委員会 総務企画専門委員会 競技運営専門委員会		国民スポーツ大会へ改称		宿泊専門委員会 輸送・交通専門委員会 式典専門委員会	医事・衛生専門委員会 警備・消防専門委員会	全国障害者スポーツ 大会との調整・検討	県外開催競技会 運営委員会		最終総会 解散	
全体計画	開催基本方針等	開催準備総合計画(1次)	開催基本構想策定	開催準備総合計画(2次)			開催準備総合計画(3次)			大会報告書	
県準備委員会(実行委員会)	総務企画	会場地選定 経費負担	会場地市町村選定基本方針 会場地市町村選定基準 県及び会場地市町村の 業務分担・経費負担基本方針	正式競技、特別競技、公開競技、 開・閉会式 会場地市町村選定(数次)	中央競技団体視察	開催会場地の内定	日体協・文科省視察 開催会場地の決定				
		文化プログラム	競技団体及び市町村への意向調査・ヒアリング			文化プログラム基本方針	文化プログラム実施計画・実施要項・募集			文化プログラムの実施	
		行幸啓関係						警備基本方針・基本計画	警備等実施計画、日程等調整	日程の最終調整	
	競技運営	競技運営	競技役員等養成基本計画 競技役員等編成基本方針 競技役員等養成基本方針	競技役員等養成事業 実施予定競技 選択基本方針 公開競技実施基本方針 デモンストレーションスポ ーツ実施基本方針	記録業務基本方針		記録関係業務基本計画	記録関係業務運営要綱	競技役員等編成	総監督会議 記録本部 総合・競技別 プログラム	
		競技用具		競技用具整備基本方針	競技用具整備計画	競技用具整備の推進					
		施設	競技・式典会場 競技施設基準		競技施設整備調査	競技施設整備計画	県・市町村の競技施設及び式典会場整備の推進				
	広報・県民運動	情報通信				情報通信基本方針	情報通信基本計画	情報通信システムの調整		情報通信本部	
		広報		広報基本方針・基本計画		広報活動の推進(ホームページ、広報誌、ポスター、懸垂幕、横断幕、記録映像等)				全国報道者会議 報道本部	
		県民運動		愛称、スローガン、マスコットキャラクター、イメージソング等		開催決定イベント		開催1年前イベント			
	宿泊	宿泊		県民運動基本方針	県民運動基本計画	県民運動の推進(各種媒体の作成及び配布、花いっぱい運動等の実施団体の支援など)					
		宿泊		宿泊施設基礎調査	宿泊関連施設基礎調査	ボランティアの募集・養成	宿泊料決定	宿泊要項		宿泊本部	
		医事・衛生			宿泊基本方針	宿泊基本計画	宿泊準備の推進(総合配宿計画、広域配宿及び民泊基本計画等)	標準献立作成方針	標準献立普及実施要領	標準献立普及講習	
	輸送・交通	医事・衛生				医事・衛生基本方針 医事・衛生基本計画	医事・衛生対策各種要項	医療救護要項	医事・衛生準備の推進(食品衛生、環境衛生、馬事衛生、防疫対策等)		救護本部・救護所
		輸送・交通			輸送・交通基本方針	輸送・交通基本計画	輸送・交通業務指針	全国輸送基礎調査	開・閉会式輸送実施計画 交通規制計画		輸送本部
		式典				式典基本方針	式典基本構想	式典基本計画	式典準備の推進(式典演技、式典音楽、炬火リレー、リハーサル等)		式典本部
警備・消防	警備・消防				警備・消防・防災 基本方針・基本計画	警備・消防・防災準備の推進(関係機関との協力体制構築、業務指針、マニュアル等の作成など)				警備本部 消防・防災本部	
	募金・協賛				国スポ募金・企業協賛 推進基本方針	国スポ募金・企業協賛 推進要項		国スポ募金・企業協賛活動の推進			
開催県	岩手県	愛媛県	福井県	茨城県	鹿児島県	三重県	栃木県	佐賀県	滋賀県	青森県	

第80回国民スポーツ大会・第25回全国障害者スポーツ大会

第80回国民スポーツ大会正式競技種別変更及び競技会場の変更（案）

1 第80回国民スポーツ大会正式競技種別変更

競技・種目名		種別	市町村名	開催予定施設
ホッケー	変更前	全種別	三沢市	青森県立三沢高等学校グラウンド
	変更後	少年男子 少年女子		
	変更前	全種別	六ヶ所村	六ヶ所村内子内農山村広場 多目的広場
	変更後	成年男子 成年女子		

2 第80回国民スポーツ大会競技会場の変更

	競技・種目名	種別	市町村名	開催予定施設	
1	サッカー	変更前	五戸町	五戸町ひばり野公園陸上競技場 五戸町ひばり野公園サッカー場	
		変更後		五戸町ひばり野公園陸上競技場	
2	ハンドボール	変更前	成年男子 成年女子	青森市	盛運輸アリーナ
			少年男子 少年女子	野辺地町	(仮称) 野辺地町総合体育館
		変更後	成年男子 成年女子	青森市	盛運輸アリーナ
			少年女子 少年男子		マエダアリーナ
	少年男子	野辺地町	青森県立野辺地高等学校体育館		
3	卓球	変更前	全種別	青森市	マエダアリーナ
		変更後		(仮称) 青森市アリーナ	

(留意事項)

開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後、会場の追加・変更等が生じる場合がある。

第80回国民スポーツ大会 記録業務基本方針（案）

第80回国民スポーツ大会における競技成績等記録の収集・発表及び総合成績の算出に関する業務（以下「記録業務」という。）は、公益財団法人日本スポーツ協会の定める「国民体育大会開催基準要項」、「同細則」及び「国民体育大会記録情報処理要項」に定めるもののほか、次の基本方針により実施する。

1 記録業務の推進

青森県準備（実行）委員会（以下「県委員会」という。）、会場地市町村準備（実行）委員会（以下「会場地委員会」という。）及び関係競技団体は、記録業務を分担し、相互に連携を図りながら、正確かつ迅速に記録業務を推進する。

2 記録本部の設置

県委員会及び会場地委員会は、記録業務を円滑に推進するため、それぞれ記録本部を設置する。

3 記録システムの使用

県委員会は、記録業務を効率的に実施するため、競技成績等記録を正確かつ迅速に処理することのできる記録システムを使用する。

4 その他

この方針に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。

第80回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ
会場地市町村第四次選定（案）

No.	競技名	市町村名	競技予定会場	主管団体名
1	ビリヤード	弘前市	弘前朝日会館マンハッタンクラブ	県ビリヤード協会

（留意事項）

開催予定施設は、現時点で競技を開催できる能力を有する施設として判断したものであり、今後会場の変更が生じる場合がある。

第80回国民スポーツ大会宿泊基本計画（案）

第80回国民スポーツ大会宿泊基本方針に基づき、県、会場地市町村及び関係機関・団体等は、相互に緊密な連携を図り、次の準備業務を推進する。

1 配宿業務の実施

(1) 配宿計画の作成

選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他の関係者（以下「大会参加者」という。）の円滑な配宿を実施するため、以下の調査結果等に基づき、配宿計画を作成する。

① 宿舎に関する調査の実施

旅館（旅館業法の許可を受けて営業を行う旅館、ホテル及び簡易宿所をいう。以下同じ。）等の県内宿舎の客室形態や設備状況、客室提供可能数、食事の提供方法等を把握する。

② 宿泊意向調査の実施

各都道府県や競技団体等の宿泊予定者数を把握する。

(2) 宿舎の充足対策

配宿計画において、大会参加者の収容が困難である場合は、会場地市町村内の旅館の客室提供の促進、公共施設等の利用、民家等の利用及び近隣市町村の旅館利用など必要な充足対策を行う。

なお、充足対策が円滑に遂行できるよう、必要に応じ、県及び会場地市町村等による連絡会議を設置する。

(3) 配宿の実施

配宿計画及び充足対策の状況を踏まえ、配宿を実施する。

2 宿泊本部の設置

各都道府県及び会場地市町村との連絡を密にし、宿泊申込み及び変更、取消に関する一連の業務を迅速かつ正確に処理するため、宿泊本部を設置する。

3 宿泊料金の決定

宿泊料金については、先催県の事例や旅館等の関係団体との協議結果を踏まえ、公益財団法人日本スポーツ協会と協議し、公益財団法人日本スポーツ協会において決定する。

4 食事の提供

大会参加者に提供する食事は、青森県の魅力を堪能できるよう、県内の特産品や郷土料理を積極的に取り入れたものとする。

また、選手・監督が十分に活躍できるよう、安全・安心で栄養バランスの良い食事の提供に努める。

5 弁当の提供

県及び会場地市町村が提供する弁当は、業務遂行能力及び衛生管理能力等のある弁当調製事業者を選定の上、適正に発注・搬入等を行う。

6 その他

上記のほか、宿泊業務の実施に関して必要な事項については、要項等を定め推進する。

第80回国民スポーツ大会医事・衛生基本方針（案）

第80回国民スポーツ大会に参加する選手・監督、役員、視察員、報道員及びその他関係者並びに一般観覧者（以下「大会参加者等」という。）の医事・衛生については、大会参加者等が清潔で快適な環境のもとで十分な活躍や観覧等ができるよう、次の基本方針に基づき実施する。

1 医療救護

大会参加者等の傷病の発生に速やかに対処するため、関係機関・団体等の協力を得て、応急処置及び医療機関への移送等の実施に必要な医療救護体制を整える。

2 防疫

大会参加者等の感染症の発生を予防し、及びそのまん延を防止するため、関係機関・団体等の協力を得て、防疫体制を整えると同時に、防疫に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。

3 食品衛生

大会参加者等の食の安全・安心を確保するため、関係機関・団体等の協力を得て、食品関係施設等の衛生管理体制を整えると同時に、食品衛生に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。

4 環境衛生

大会参加者等に清潔で快適な環境を提供するため、関係機関・団体等はもとより、広く県民の協力を得て、宿舍の衛生対策、各会場及びその周辺環境の美化、廃棄物の適正処理、リサイクルの推進等に努めると同時に、環境衛生に関する知識の普及及び意識の一層の啓発を図る。

第80回国民スポーツ大会警備・消防防災基本方針（案）

第80回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）における警備・消防防災対策については、警察、消防防災、医療等の関係機関及び団体等との緊密な連携のもとに、警備・消防防災体制の確立を図り、安全かつ円滑な大会運営が行われるよう万全を期するものとする。

1 警備対策

開・閉会式会場、競技会場、練習会場、宿泊施設及び沿道等における事件・事故防止を重点とした適切な警備に関する諸対策を講じる。

また、大会期間中には、関係機関及び団体等の協力を得て、防犯対策を推進し犯罪の防止に努める。

2 消防防災対策

開・閉会式会場、競技会場、練習会場、宿泊施設及び沿道等の、火災その他の災害予防並びに災害発生時における情報収集・伝達、避難誘導、救急・救助等に関する諸対策を講じる。

また、大会期間中の火災その他の災害予防及び発生時の被害軽減を図るため、関係機関及び団体等の協力を得て、防火・防災意識の高揚を図る。

3 大規模災害・突発重大事案対策

青森県地域防災計画及び市町村地域防災計画等を踏まえ、開・閉会式会場、競技会場、練習会場等での大規模災害及び突発重大事案発生時における情報収集・伝達、避難誘導、救急・救助等に関する諸対策を講じる。

4 関係機関及び団体等との連絡調整

県及び会場地市町村は、関係機関及び団体等と緊密な連携を保つとともに、情報連絡体制を確立し、警備・消防防災対策の円滑な推進を図る。

第80回国民スポーツ大会開催基本方針

1 基本方針

第80回国民スポーツ大会は、本県で49年ぶりに開催する国内最大のスポーツの祭典として、スポーツによる感動や交流の輪を広げるとともに、本県のあらゆる魅力を発信するなど、県民総参加により青森県らしさあふれる大会として開催します。

大会の開催に当たっては、創意工夫により、簡素・効率化を図るとともに、将来の県民へと引き継がれる貴重なレガシー（遺産）となるよう大会終了後も見据えた取組も推進します。

この大会の開催を契機に、県民が年間を通してスポーツに親しみ、スポーツを通じた健康づくりや生きがいづくりに取り組むことにより健康・体力の保持増進、競技力の向上が図られ、また、本県を訪れる多くの人達との新たな交流により地域が活性化するなど、「スポーツが盛んな青森県」の実現を目指します。

2 実施目標

(1) スポーツによる感動の創出と地域へのスポーツの定着

スポーツを「する」「みる」「ささえる」など多様な場面で、感動が創出されることにより、県民の誰もがスポーツに関わる楽しさを感じることができる環境が整備されるとともに、県内各地で地域住民がスポーツに取り組む習慣が身につき、スポーツが地域に定着する大会とします。

(2) 自発的、積極的な県民参加による地域の活性化

県民一人ひとりが、開催準備に自発的、積極的に参加するとともに、スポーツを通じた健康づくりなどに一丸となって取り組むことにより、全ての県民が心身ともに健康な状態で大会を迎え、その後も各地域が元気で活力に満ちた姿となる大会とします。

(3) 来県者への熱い心でのおもてなしとあらゆる魅力の発信

大会に参加する選手・監督・役員・応援者など数多くの来県者を熱いおもてなしの心で迎えるとともに、大会期間を通して本県のあらゆる魅力を体感していただくことにより、再び本県を訪問したいという気持ちを喚起する大会とします。

第 80 回国民スポーツ大会実施予定競技選択基本方針

第 80 回国民スポーツ大会（以下「大会」という。）における実施予定競技は、本県のスポーツの現状及び大会後におけるスポーツの推進を考慮しながら、次のとおり選択する。

- 1 正式競技は、公益財団法人日本スポーツ協会が定める国民体育大会開催基準要項及び同細則に示されている競技で、公益財団法人青森県スポーツ協会（以下「県スポ協」という。）に加盟している競技団体の競技とする。
- 2 特別競技は、高等学校野球（硬式・軟式）とする。
- 3 公開競技は、綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビックの 7 競技のうち、中央競技団体等と協議の上、実施競技を選択する。
- 4 デモンストレーションスポーツは、正式競技、特別競技及び公開競技として選択されない競技のうち、県スポ協に加盟する競技団体又は県スポ協が推薦するスポーツ・レクリエーション団体の競技の中から、市町村の希望や競技団体の意向を踏まえ、関係機関・団体と協議の上、実施競技を選択する。

第80回国民スポーツ大会開催基本構想



平成30年12月

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会

目 次

はじめに 第80回国民スポーツ大会開催基本構想の策定に当たって ～49年ぶりの青森県開催に向けて～	P. 1
第1章 第80回国民スポーツ大会の開催に向けて	P. 2
1 国民スポーツ大会とは	
2 国民スポーツ大会のあゆみ	
3 国民スポーツ大会の課題と改革	
4 青森県での開催意義	
第2章 第80回国民スポーツ大会の基本目標と目指す方向	P. 5
1 基本目標	
2 目指す方向	
第3章 基本目標の実現に向けた取組	P. 6
1 県民の誰もがスポーツに親しむ国スポ	
2 県民が自発的、積極的に参加する国スポ	
3 来県者を熱い心でおもてなしする国スポ	
第4章 「スポーツが盛んな青森県」の実現に向けて	P. 8

はじめに 第80回国民スポーツ大会開催基本構想の策定に当たって ～49年ぶりの青森県開催に向けて～

国民スポーツ大会は、国民体育大会（国体）の名称で、昭和21年（1946年）に京都を中心とした京阪神地域で第1回が開催されて以来、都道府県持ち回りで開催されている国内最大のスポーツの祭典であり、国民の健康増進と体力向上、地方スポーツの振興と地方文化の発展等に寄与してきました。

青森県では、昭和52年（1977年）に「心ゆたかに 力たくましく」のローガンの下、第32回国民体育大会「あすなる国体」が、初の完全国体（冬季、夏・秋季の全種目を同一県内で開催）により県内各地で開催し、本県のスポーツ振興に多大な影響を与えるとともに、完全国体を成し遂げた県民の自信と誇りは、その後の県勢発展の大きな原動力となりました。

前回開催から49年ぶりとなる2026年に青森県で第80回国民スポーツ大会を開催します。

この開催基本構想は、「青森県基本計画」において本県が目指す「スポーツが盛んな青森県」を踏まえ制定した「第80回国民スポーツ大会開催基本方針（平成28年8月31日 第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会第1回総会決定）」に基づき、大会の開催及び開催準備の指針となる基本目標とその実現に向けた方向性を明らかにするものです。

第1章 第80回国民スポーツ大会の開催に向けて

1 国民スポーツ大会（国スポ）とは

国スポは、広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を目指し、地方スポーツの推進と地方文化の発展を図ることを目的として、毎年開催されている国内最大の国民スポーツの祭典です。

「冬季大会」と「本大会」の競技得点の合計を競う都道府県対抗方式で開催され、天皇杯（男女総合成績1位）・皇后杯（女子総合成績1位）の獲得を目指し、都道府県代表の選手が各競技で熱い戦いを繰り広げます。

青森県で開催する国スポでは、競技得点の加対象となる「正式競技」のほか、「特別競技」、「公開競技」、「デモンストレーションスポーツ」といった競技を実施することになります。

第80回国民スポーツ大会（本大会）における実施予定競技

区分	競技名
正式競技（37競技）	陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
特別競技（1競技）	高等学校野球
公開競技（7競技）	綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック
デモンストレーションスポーツ	地方スポーツの推進、国民の健康増進・体力の向上等をはじめ、国民のスポーツ推進を図るため、県内居住者を対象として実施する競技（今後選定）

2 国民スポーツ大会のあゆみ ※過去時点での名称となっております。

国民スポーツ大会は、国民体育大会（国体）の名称で、戦後の混乱期の中で国民に希望と勇気を与えるため、昭和21年（1946年）に、京都を中心とした京阪神地域で第1回大会が開催されて以来、毎年、各都道府県の持ち回りで開催されています。

昭和23年（1948年）の第3回福岡県大会から都道府県対抗方式が確立し、天皇杯と皇后杯が創設されました。

昭和63年（1988年）の第43回京都府大会から2巡目に入り、全国を東地区（北海道・東北・関東）、中地区（北信越・東海・近畿）、西地区（中国・四国・九州）の3つに分けて輪番制で開催されています。

当初は、冬季、夏季、秋季の3会期で実施されていた国体は、平成18年（2006年）の第61回兵庫県大会から夏季大会と秋季大会が統合され、以降は冬季大会と本大会の2会期として開催されています。

今般、スポーツ基本法の一部を改正する法律（平成30年7月20日公布）により、国体の略称で親しまれてきた国民体育大会は、2024年の第78回佐賀県大会から、国民スポーツ大会（国スポ）に改称されます。

なお、平成13年（2001年）の第56回宮城県大会からは、国体開催後、開催県で全国障害者スポーツ大会が開催されています。

3 国民スポーツ大会の課題と改革 ※過去時点での名称となっております。

第1回大会が開催されて以来、半世紀以上が経過する中で、国内のスポーツレベルの向上と国際化により、トップアスリートが国際大会に関連する大会への出場を重視し、国体への参加を見送ることや、地方自治体の財政状況が厳しさを増す中で、開催地に求められる人的、財政的負担感が増大したことなど、国体を取り巻く状況は変化してきました。

このような状況を踏まえて、公益財団法人日本体育協会（現公益財団法人日本スポーツ協会 以下「日本スポーツ協会」とする。）では、平成15年（2003年）3月に「新しい国民体育大会を求めて～国体改革2003～」を策定し、「大会の充実・活性化」と「大会運営の簡素・効率化」の観点から、トップアスリートの参加促進、夏季大会と秋季大会の一本化、総参加数の削減など、新しい国体に向けた各種改革の取組を進め、さらに、平成25年（2013年）3月には「21世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～」を策定し、少年種別の充実や各競技会の実施規模等の見直しなどの取組も進めているところです。

また、オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市が東京都に決定したことを受け、平成26年（2014年）6月には「国民体育大会における2020年オリンピック対策実行計画」を策定し、継続的なアスリートの発掘・育成・強化の促進のために、オリンピック競技大会の実施競技等で国体において未実施の競技等の一部を追加して競技会を実施しています。

日本スポーツ協会では、引き続き、大会開催経費の負担軽減等、各種諸課題について国スポ改革の取組を推進することとしています。

4 青森県での開催意義

国スポは、国内最大のスポーツの祭典であると同時に、国内トップレベルの競技を身近に観戦することができる絶好の機会であり、全国から沢山の参加者が県内各地を訪れることとなります。また、デモンストレーションスポーツの実施により、競技スポーツばかりではなく、県民の誰もが気軽に参加できる生涯スポーツの推進も図られます。

このような中、青森県で国スポを開催することは、県民のスポーツに対する興味・関心を高めるほか、スポーツによる地域の活性化やスポーツを通じた健康づくりや生きがいつくりの推進、次代を担う子どもたちに夢や希望を与えるなど、本県にとって、新たな活力の創出に繋がるという意味で、大いに意義があり、全国から訪れる多くの参加者へ本県のあらゆる魅力を発信できる貴重な機会でもあります。

第2章 第80回国民スポーツ大会の基本目標と目指す方向

1 基本目標

オールあおもりで感動を創出し、県民のレガシー（遺産）とする

青森県で開催する第80回国民スポーツ大会が、県民力を結集し、青森らしさあふれる大会となるよう、開催準備段階から感動が創出されるとともに、様々な取組が開催後の本県活力へ繋がることを目指して、「オールあおもりで感動を創出し、県民のレガシー（遺産）とする」ことを基本目標と定めます。

また、基本目標の実現に向けて次の3つの項目を大きな柱として、様々な取組を展開していきます。

2 目指す方向

（1）県民の誰もがスポーツに親しむ国スポ

本県選手が活躍するとともに、県民の誰もが、スポーツの楽しさや素晴らしさを実感し、国スポ開催時のみならず、開催後もスポーツに親しむ大会を目指します。

（2）県民が自発的、積極的に参加する国スポ

県民一人ひとりが持つ知恵や力が、開催準備段階から発揮され、開催時にそれらが結集することで、大きな県民力となる大会を目指します。

（3）来県者を熱い心でおもてなしする国スポ

大会に参加する来県者を心から歓迎するとともに、青森県のあらゆる魅力を発信するなど、熱い心でおもてなしする大会を目指します。

第3章 基本目標の実現に向けた取組

1 県民の誰もがスポーツに親しむ国スポ

(1) スポーツを通じた健康づくり、生きがいづくりの推進

- ・県民一人ひとりが、年間を通して身近で気軽に取り組めるよう、地域におけるスポーツ教室や健康づくり教室、スポーツイベント等の情報を発信するなど、地域のスポーツ活動を推進します。
- ・国スポ開催後に開催が予定されている全国障害者スポーツ大会に向け、障害者のスポーツ活動への理解や普及・啓発、発展に努めます。
- ・国スポ実施競技のうち、デモンストレーションスポーツについては、生涯スポーツの推進のためにも、可能な限り様々な競技を県内各地で開催します。

(2) 将来にわたり持続可能な競技力の向上

- ・県内関係分野の機関・団体等で構成する県競技力向上対策本部による競技力向上の推進体制の充実を図ります。
- ・継続的な指導体制の確立のため、指導者の計画的な養成及び資質の向上を図ります。
- ・ジュニア期からの選手の発掘を行い、国スポ等の全国大会や、国際大会等で活躍できる選手の育成・強化に努めます。

(3) スポーツへの関心の広がり

- ・県内ゆかりのアスリートによる、国スポ実施競技の認知度向上を図るとともに、各競技の魅力を発信します。
- ・県内で開催するプロスポーツや各種スポーツ大会等について、積極的に周知します。
- ・大会開催時には、観戦のために各競技会へ訪れる県内外の多くの方々に対応できるよう、必要な環境整備に努めます。

2 県民が自発的、積極的に参加する国スポ

(1) オールあおもりとなる県民運動の推進

- ・様々な機会を通じて県民に対し大会開催への理解を図るとともに、多様な広報媒体を活用した効果的な広報活動により開催気運の醸成を図ります。
- ・子どもや学生をはじめ、働き世代、高齢者など、広く県民が、自発的、積極的に参加する多彩な県民運動を展開します。
- ・企業やNPO等が持つノウハウや発想を積極的に取り入れ、協働による取組を行うことにより、効率的・効果的な大会の開催に努めます。

(2) ボランティア等の人財育成

- ・総合開・閉会式や各競技会、総合案内所等で活躍する大会を支えるボランティアを募集・養成します。
- ・競技会の開催に当たる競技役員等について、県内競技団体と連携して計画的に養成します。

(3) 県内各地での競技会の開催

- ・多くの県民が各地域で参画し、スポーツの定着が図れるよう、正式競技、特別競技、公開競技及びデモンストレーションスポーツについて、可能な限り県内各地で分散開催します。
- ・大会運営や準備に当たっては、公共交通機関等の利用促進を図るなど、環境への配慮に努めます。
- ・同一競技を共同で開催する市町村間では、競技会開催に係る宿泊や輸送、地域の魅力発信などについて、連携した取組を進めます。

3 来県者を熱い心でおもてなしする国スポ

(1) あおもりのあらゆる魅力の発信

- ・あおもりの自然・歴史・文化・食・物産等のあらゆる魅力について、全国の方々に開催前から注目されるよう、観光関連団体等と連携をしながら効果的、複合的に全国へ発信します。
- ・競技会会場地周辺をはじめ、周辺市町村へも来県者が訪れたいくなるよう、地域の魅力発信に取り組みます。

(2) 来県者との交流の促進

- ・県内の駅や空港など交通の主要な場所に、来県者を歓迎し、大会や観光等の様々な情報が入手できる総合案内所を設置します。
- ・総合開・閉会式や各競技会会場では、参加選手等と県民との交流が図られるよう、機会の充実に努めます。
- ・全ての参加選手が、その力を十分に発揮できるよう、本県選手はもちろんのこと、他都道府県選手の応援も行うことで、大会全体を盛り上げます。

(3) 来県者等へのおもてなしの推進

- ・参加者や来県者、関係者等が、必要な情報を容易に入手できるよう、ICTを活用するなどした環境整備に努めます。
- ・県民一人ひとりが、来県者を歓迎し、まごころや親切心を持って接するなど、心のこもったおもてなしに努めます。

第4章 「スポーツが盛んな青森県」の実現に向けて

全国的な人口減少や少子・高齢化に加え、青森県は平均寿命が男女とも全国最下位の状況にあります。スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進など、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものであり、県民一人ひとりが、健やかな生命と心を育み、豊かな暮らしを送ることができる活力ある長寿県（健康長寿県）を目指す青森県にとって、スポーツの推進は大変重要な要素であると言えます。

このような中、あすなろ国体以来49年ぶりに青森県で開催する国スポを、様々な課題解決の絶好の機会と捉え、よりよい青森県づくりのために国スポ開催を成功させることはもちろんのこと、国スポ開催後にもその効果が持続することが重要です。

競技力の向上や地域スポーツの推進により、スポーツを「する」人が増えることは、全国大会や国際大会で多くの選手が活躍し、県民に活力を与えるとともに子どもたちへ夢や希望、勇気を与えることができます。また、多くの県民がスポーツに親しみ、日常的にスポーツに取り組むこととなり、健康長寿県へつながります。

国スポ開催を通じたスポーツへの関心の広がりにより、スポーツを「みる」人が増えることは、県民のスポーツへの興味・関心を高め、スポーツ観戦の楽しさや素晴らしさを理解し、プロスポーツや各種スポーツ大会が賑わい、地域経済へも好影響をもたらすことができます。

大会ボランティアや競技役員等が養成され、大会期間中を通して活躍することにより、スポーツを「ささえる」人が増えることは、国スポ開催後の青森県のスポーツ活動の基盤となり、地域活動への意識が醸成され、地域が更なる発展をするための活力にもなります。

このように県民が様々な形でスポーツに関わることは、県民一人ひとりの貴重な財産となり、青森県が目指す「スポーツが盛んな青森県」の実現へ向けての大きな原動力となります。国スポ開催後も多くの人財が活躍し、スポーツを通して地域が活性化されるよう、2026年、国内最大のスポーツの祭典である第80回国民スポーツ大会の開催に向け、県民の総力を結集し、オールあおもりで取り組んでいきます。

第 80 回国民スポーツ大会競技役員等養成基本計画

第 80 回国民スポーツ大会の競技運営に当たる競技役員等の養成については、「第 80 回国民スポーツ大会競技役員等編成基本方針」及び「第 80 回国民スポーツ大会競技役員等養成基本方針」に基づき、第 80 回国民スポーツ大会競技役員等養成基本計画を作成し、計画的かつ円滑な事業の推進を図る。

1 養成対象

競技役員（審判員・運営員）、競技補助員、競技会係員及び競技会補助員を養成の対象とする。

2 業務分担

- (1) 競技役員（審判員・運営員）及び競技補助員については、競技団体がその養成を行う。
- (2) 競技会係員及び競技会補助員については、会場地市町村が関係団体と十分協議し、その養成を行う。
- (3) 県は、競技団体及び会場地市町村と連携を図り、競技役員等の養成計画の推進に努める。

3 養成事業

- (1) 競技役員（審判員・運営員）の養成事業については、次のとおりとする。
 - ① 県内講師による県内講習会
 - ② 中央及びブロックの競技団体講師による県内講習会
 - ③ 中央及びブロックの競技団体主催の講習会への派遣
 - ④ 中央及びブロックの競技団体主催の大会への派遣
- (2) 競技補助員、競技会係員及び競技会補助員の養成事業については、次のとおりとする。
 - ① 県内講師による県内講習会
 - ② 中央及びブロックの競技団体講師による県内講習会

4 養成実施年次計画

競技役員等の養成実施年次計画は、次のとおりとする。

区分・内容			平成	平成	令和	令和							
			29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	
			9年前	8年前	7年前	6年前	5年前	4年前	3年前	2年前	1年前	開催年	
競技役員	審判員	中央講習会等派遣 県内講習会	← 資格取得、資格維持、資質向上 →										
	運営員	要資格 運営員	中央講習会等派遣 県内講習会	← 資格取得、資格維持、資質向上 →									
		その他 運営員	中央講習会等派遣 県内講習会									← 養成、資質向 →	
競技補助員		県内講習会									← 養成、資質向 →		
競技会係員		県内講習会									← 養成 →		
競技会補助員		県内講習会									← 養成 →		

5 競技役員等の養成計画

- (1) 競技役員等の具体的な養成計画は、各競技団体が別途作成する。
- (2) 養成計画は、事業の進捗状況をふまえ、毎年見直しをする。

第80回国民スポーツ大会公開競技実施基本方針

第80回国民スポーツ大会において実施する公開競技は、公益財団法人日本スポーツ協会の定める国民体育大会開催基準要項及び同細則、国民体育大会公開競技実施基準並びに第80回国民スポーツ大会開催基本方針に基づき、次の方針により実施する。

1 実施目的

- (1) 国スポを契機として、競技の普及及びスポーツの振興を図り、生涯スポーツの実現を推進する。
- (2) 県民が多くのスポーツに触れ合う機会を増やすことにより、健康・体力の保持増進、競技力の向上が図られ、併せて多くの人達との新たな交流により地域が活性化するなど「スポーツが盛んな青森県」の実現を目指す。

2 実施競技の選択

実施競技は、第80回国民スポーツ大会実施予定競技選択基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビックの7競技から選択する。

- (1) 競技を実施することにより、国スポ終了後においても、県内での当該競技の普及・振興が推進されること。
- (2) 当該県競技団体の組織が整備されており、競技運営能力があること。
- (3) 当該中央・県競技団体の開催意欲とともに、市町村の開催希望があること。

3 会場地市町村の選定

会場地は、第80回国民スポーツ大会会場地市町村選定基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、選定する。

- (1) 市町村と競技団体の意向が合致すること。
- (2) 実施する公開競技の普及・振興を推進する市町村であること。
- (3) 実施する公開競技の開催に必要な競技施設を有する市町村であること。

4 実施方法、実施時期及び期間

- (1) 実施方法及びその他の必要な事項は別に定める。
- (2) 実施時期は令和8年4月1日から閉会までの期間とする。ただし、総合開・閉会式当日は除くものとする。
- (3) 実施期間は、4日間を上限とする。

5 業務分担及び経費負担

- (1) 競技会の準備及び開催運営に係る業務は、当該中央競技団体が主導で行うものとし、その経費については、当該中央競技団体の負担とする。
- (2) 参加料、参加者旅費等、当該競技会参加に関する経費については、原則として競技会参加者の自己負担とする。

第80回国民スポーツ大会デモンストレーションスポーツ実施基本方針

第80回国民スポーツ大会において実施するデモンストレーションスポーツ（以下「デモスポ」という。）は、公益財団法人日本スポーツ協会の定める国民体育大会開催基準要項及び同細則、国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基準並びに第80回国民スポーツ大会開催基本方針に基づき、次の方針により実施する。

1 実施目的

- (1) デモスポの実施により、県民の国スポへの参加機会をより多く設けるとともに、県内各地で地域住民がスポーツに取り組む習慣が身につくこと、スポーツが地域に定着する大会を目指す。
- (2) デモスポを通じて、地域スポーツの普及・推進を図り、健康・体力の保持増進及び、各地域が元気で活力に満ちた姿になることを目指す。
- (3) デモスポへの参加を通じて世代間や地域間の交流の輪を広げ活力ある地域づくりを目指す。

2 実施競技の選択

実施競技は、第80回国民スポーツ大会実施予定競技選択基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、選択する。

- (1) 正式競技、特別競技及び公開競技以外の競技で、公益財団法人青森県スポーツ協会に加盟、又は推薦する競技・レクリエーションであること。
- (2) 広く県民に普及していること、又は普及する見込みがあること。
- (3) 競技団体の組織が整備されており、大会運営能力があること。
- (4) 原則として、既存施設での開催が可能であること。
- (5) 市町村及び競技団体の開催希望があること。

3 会場地市町村の選定

会場地は、第80回国民スポーツ大会会場地市町村選定基本方針に基づき、次の事項について総合的に検討し、選定する。

- (1) 実施するデモスポの普及・振興を推進する市町村であること。
- (2) 実施するデモスポの開催に必要な競技施設を有する市町村であること。

4 実施方法、実施時期及び期間

- (1) 実施方法及びその他の必要な事項は別に定める。
- (2) 実施時期は、令和8年4月1日から閉会までの期間とする。ただし、総合開・閉会式当日は除くものとする。
- (3) 実施期間は原則として1日とする。

5 業務分担及び経費負担

業務分担及び経費負担は第80回国民スポーツ大会県及び会場地市町村の業務分担・経費負担基本方針の定めるところによる。

第80回国民スポーツ大会競技別リハーサル大会開催基準要項

1 趣旨

この要項は、「第80回国民スポーツ大会競技運営基本方針」に基づき、第80回国民スポーツ大会（以下「国スポ」という。）における各競技会の円滑な運営に資するために会場地市町村と関係競技団体が実施する競技別リハーサル大会（以下「大会」という。）に関して、基本的な事項を定める。

2 目的

大会の目的は次のとおりとする。

- (1) 会場地市町村及び関係競技団体の競技会運営能力の向上を図り、国スポの円滑な開催に資する。
- (2) 県民の国スポ及び競技に対する関心を高め、理解を深めるとともに、国スポ開催の気運醸成を図る。

3 開催期間及び回数

大会は、会場地市町村と関係競技団体が協議の上、会場地市町村において令和7年度から国スポ開催時までの間に、1競技につき1回開催できるものとする。

4 大会の開催

大会は、会場地市町村及び関係競技団体が協力して開催するものとし、分散開催の競技については、複数の会場地市町村により共同で開催することができるものとする。

5 大会の規模

大会は、原則として参加者数及び競技役員数等が国スポを上回らないものとし、東北地区大会の活用に努めるものとする。

なお、これによらない場合は、青森県準備（実行）委員会（以下「県委員会」という。）と別途協議するものとする。

6 大会の運営

- (1) 大会は、国スポにおける各競技会に準じ、運営する。
- (2) 大会に使用する施設は、原則として国スポで使用する施設とする。
- (3) 大会は、会場地市町村及び関係競技団体の実情に応じたものとし、双方が協力して創意工夫することにより、簡素で効率的な運営に努める。

7 大会の経費

- (1) 大会の経費は、会場地市町村及び関係競技団体が負担するものとする。
- (2) 大会は、華美、過大にならないように留意し、その経費については、目的が達成できる必要最小限度にとどめるものとする。

8 開催の手続き

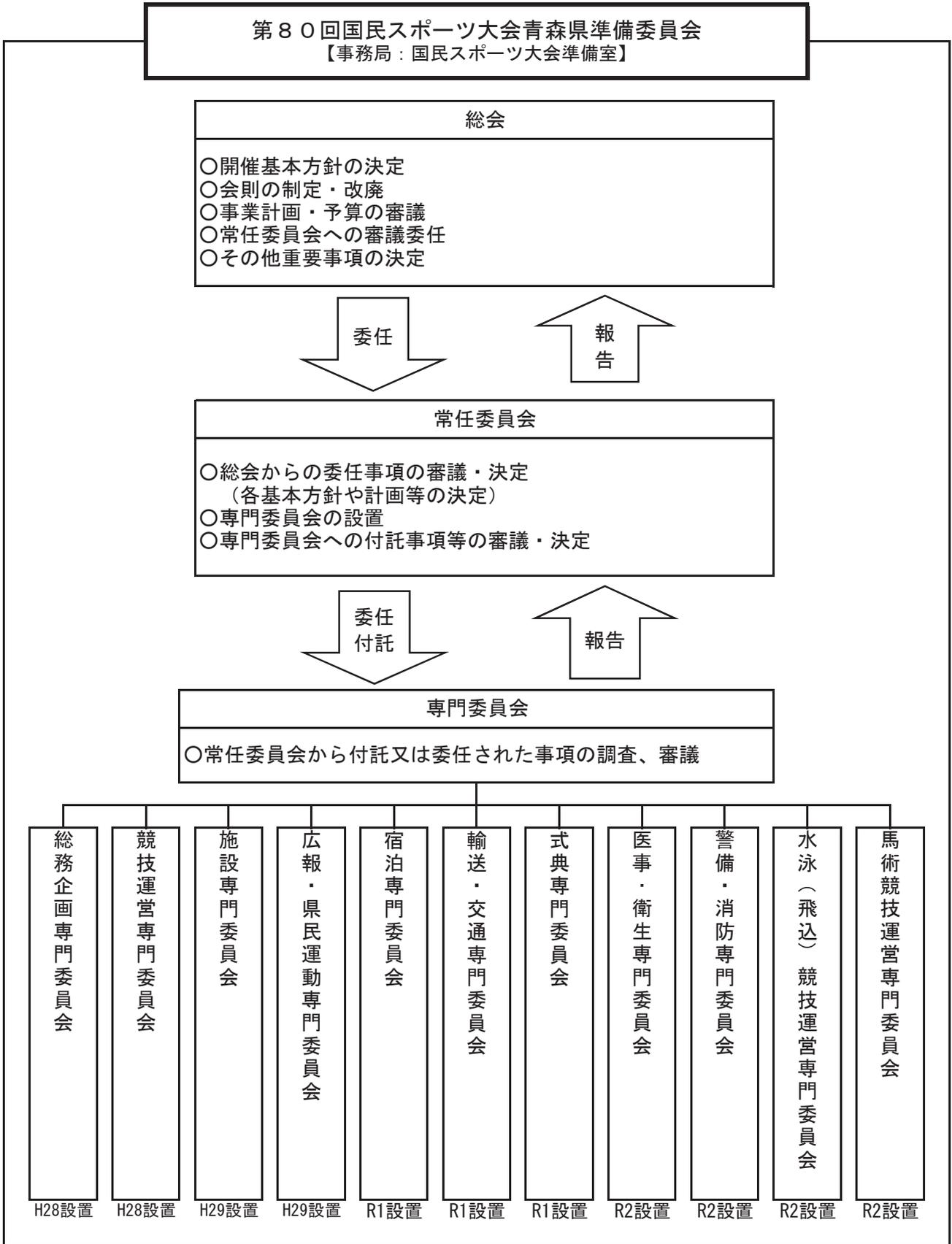
大会を開催する会場地市町村は、関係競技団体と協議の上、大会開催申請書を県委員会に提出し、承認を求めるものとする。

なお、提出する申請書及び提出時期については、別に定める。

9 その他

この要項に定めるもののほか、必要な事項については、別に定める。

第 80 回国民スポーツ大会青森県準備委員会組織構成図



参考資料 9

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会各専門委員会名簿
(◎委員長、○副委員長)

総務企画専門委員会 (16名)

令和3年1月22日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
市町村関係	青森県市長会 事務局長	嶋 口 幸 造
	青森県町村会 常務理事兼事務局長	原 田 啓 一
体育・スポーツ関係	◎公益財団法人青森県スポーツ協会 専務理事	小 笠 原 博
	青森県スポーツ推進審議会 委員	増 田 あ け み
	特定非営利活動法人青森県スポーツ・レクリエーション連盟 事務局長	葛 西 の り 子
学校関係	青森県高等学校体育連盟 副会長	高 谷 悟
	青森県中学校体育連盟 副会長	奈 良 原 正 志
福祉・障害者関係	特定非営利活動法人青森県障害者スポーツ協会 理事	中 嶋 実 樹
学識経験者	○国立大学法人弘前大学教授	戸 塚 学
経済・産業関係	青森県商工会議所連合会 事務局長	道 川 浩 治
	青森県商工会連合会 事務局長	太 田 栄 司
県関係	総務部市町村課 課長	宇 野 武
	企画政策部企画調整課 課長	奈 良 浩 明
	健康福祉部障害福祉課 課長	工 藤 康 成
	観光国際戦略局観光企画課 課長	宮 古 暁
	教育庁スポーツ健康課 課長	谷 地 村 克 久

競技運営専門委員会 (15名)

令和2年6月26日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
体育・スポーツ関係	◎公益財団法人青森県スポーツ協会 競技力向上委員長 (兼スポーツ推進審議会)	岡 村 良 久
	○公益財団法人青森県スポーツ協会 スポーツ振興課長	鈴 木 学
	一般財団法人青森陸上競技協会 理事長 (事務局長)	安 田 信 昭
	青森県水泳連盟 事務局長	木 村 聖 士
	一般社団法人青森県サッカー協会 事務局長	石 原 静 子
	青森県テニス協会 理事長	越 善 隆
	青森県バレーボール協会 事務局長	嶋 海 安 久
	一般財団法人バスケットボール協会 事務局長	原 子 圭 一 郎
	青森県柔道連盟 理事長 (事務局長)	福 田 昌 由
学校関係	青森県中学校体育連盟 理事長	塩 谷 貴
	青森県高等学校体育連盟 理事長	坂 上 佳 苗
学識経験者	国立大学法人弘前大学大学院医学研究科リハビリテーション医学講座 教授	津 田 英 一
	公立大学法人青森公立大学経営経済学部 教授	飯 田 俊 郎
	八戸学院大学健康医療学部 講師	工 藤 祐 太 郎
県関係	教育庁スポーツ健康課 課長	谷 地 村 克 久

広報・県民運動専門委員会 (27名)

令和2年5月24日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
報道関係	○青森放送株式会社 報道部長	蒔 田 修 弘
	株式会社青森テレビ 報道制作部長	鎌 田 裕 一
	青森朝日放送株式会社 制作部長	帷 子 聖 修
	日本放送協会青森放送局 放送部長	森 谷 涉
	株式会社東奥日報社 報道部次長	福 士 和 久
	株式会社陸奥新報社青森支社 編集部長	今 井 珠 世
	株式会社デーリー東北新聞社青森支社 編集部長	齋 藤 桂
	株式会社エフエム青森 放送部長	鈴 木 耕 治
経済・産業関係	青森県商工会議所連合会(青森商工会議所) 地域振興部長	橋 本 寛 行
	青森県商工会連合会 総務組織課長	井 上 英 治
	青森県中小企業団体中央会 事務局次長	船 水 礼 子
観光関係	公益社団法人青森県観光連盟 事務局長	佐 藤 満
学識経験者	◎公立大学法人青森公立大学 教授	香 取 真 理
社会・福祉関係	社会福祉法人青森県社会福祉協議会 事務局長	高 橋 金 一
	公益財団法人青森県老人クラブ連合会 事務局長	五 戸 秀 樹
	青森県地域婦人団体連合会 事務局長	宮 川 春 子
スポーツ関係	青森県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会 会長	鹿 内 葵
学校関係	青森県小学校長会 広報部長	成 田 明 彦
	青森県中学校長会 副会長	横 山 誠 之
	青森県高等学校長協会 常任理事	岩 川 亘 宏
	青森県特別支援学校校長会 会長	甲 田 隆
	青森県私立中学高等学校長協会 事務局長	嶋 津 泰 久
市町村関係	青森市 広報広聴課長	大 久 保 綾 子
	おいらせ町 総務課長	西 舘 道 幸
県関係	企画政策部広報広聴課 課長	田 口 晋
	環境生活部県民生活文化課 課長	松 岡 浩 美
	観光国際戦略局観光企画課 課長	宮 古 暁

施設専門委員会（16名）

令和2年4月15日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
学識経験者	◎八戸工業高等専門学校 准教授（青森県都市計画審議会会長）	馬 渡 龍
スポーツ関係	○青森県体育施設協会 会長	和 嶋 裕 人
	公益財団法人青森県スポーツ協会 総務課長	相 坂 讓
社会・福祉関係	一般財団法人青森県身体障害者福祉協会 事務局長	蝦 名 良 孝
学校関係	青森県高等学校長協会 常任理事	鈴 木 雅 博
	青森県私立中学高等学校長協会 副会長	橋 場 保 人
市町村関係	青森県市長会 事務局長	嶋 口 幸 造
	青森県町村会業務共済課 業務共済課長	吉 本 知 己
県関係	総務部市町村課 課長	宇 野 武
	健康福祉部障害福祉課 課長	工 藤 康 成
	県土整備部道路課 課長	永 澤 親 兼
	県土整備部港湾空港課 課長	苫 米 地 鋭
	県土整備部都市計画課 課長	古 川 幸 博
	県土整備部建築住宅課 課長	駒 井 裕 民
	教育庁学校施設課 課長	高 橋 彰
	教育庁スポーツ健康課 課長	谷 地 村 克 久

宿泊専門委員会（11名）

令和2年12月22日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
宿泊・観光関係	◎青森県旅館ホテル生活衛生同業組合 理事長	福 士 圭 介
	公益社団法人青森県観光連盟 専務理事	高 坂 幹
	一般社団法人日本旅行業協会東北支部青森地区委員会 委員長	小 松 田 敦
	一般社団法人青森県旅行業協会 会長	片 野 治
食品・衛生関係	○公益社団法人青森県栄養士会 会長	齋 藤 長 徳
	一般社団法人青森県食品衛生協会 専務理事	畑 中 和 紀
	一般社団法人青森県調理師会 会長	浪 内 通
体育・スポーツ関係	公益財団法人青森県スポーツ協会 スポーツ振興課長	鈴 木 学
県関係	健康福祉部保健衛生課 課長	磯 嶋 隆
	農林水産部総合販売戦略課 課長	齋 藤 直 樹
	観光国際戦略局観光企画課 課長	宮 古 曉

輸送・交通専門委員会（20名）

令和2年4月1日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
輸送関係	◎公益社団法人青森県バス協会 専務理事	池 田 守
	○東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社青森支店 支店長	三 上 政 勝
	東日本旅客鉄道株式会社秋田支社津軽地区センター 所長	古 川 一 之
	青い森鉄道株式会社 取締役運輸部長	小 友 誠
	一般社団法人青森県タクシー協会 専務理事	平 尾 洋
	青森県レンタカー協会 会長	須 藤 秀 光
	日本航空株式会社青森支店 支店長	安 井 勝 一
	全日本空輸株式会社販売事業本部青森営業所 所長	峯 尾 泰 子
	株式会社フジドリームエアラインズ青森空港支店 支店長	中 尾 仁
	東日本高速道路株式会社東北支社青森管理事務所 管理担当課長	平 間 裕 一
	東日本高速道路株式会社東北支社八戸管理事務所 管理担当課長	松 澤 基 晴
国の機関	国土交通省東北運輸局青森運輸支局 首席運輸企画専門官	柳 谷 英 俊
	国土交通省東北地方整備局青森河川国道事務所 副所長	小 笠 原 清
開・閉会式会場市町村	青森市都市整備部都市政策課 課長	坂 牛 裕
体育・スポーツ関係	公益財団法人青森県スポーツ協会 スポーツ振興課長	鈴 木 学
県関係	県警察本部交通部交通規制課 課長	工 藤 仁 志
	健康福祉部障害福祉課 課長	工 藤 康 成
	企画政策部交通政策課 課長	船 木 久 義
	県土整備部道路課 課長	永 澤 親 兼
	県土整備部港湾空港課 課長	苫 米 地 鋭

式典専門委員会（18名）

令和2年10月16日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
市町村関係	青森市経済部地域スポーツ課 課長	遠 嶋 祥 剛
体育・スポーツ関係	青森県スポーツ協会 副会長	大 沢 陽 子
	青森県スポーツ・レクリエーション連盟 事務局長	葛 西 のり子
	○青森県女子体育連盟 会長	増 田 あけみ
	青森県体操協会 理事	荒 川 栄
	青森県エアロビック連盟 理事	中 村 俊 子
学校関係	青森県小学校長会 対策部副部長	成 田 達 哉
	青森県中学校長会 広報委員長	木 村 信 一
	青森県高等学校長協会 管理運営委員会委員長	古 川 浩 樹
	青森県私立中学高等学校長協会 理事	笹 木 正 信
学識経験者	◎青森大学社会学部 特任教授	笠 島 明
経済・産業、社会教育関係	青森県文化振興会議 専務理事	岸 里 フミエ
	青森県吹奏楽連盟 理事長	長 利 清 人
	青森県合唱連盟 理事長	辻 村 成 子
報道関係	NHK青森放送局 放送部長	河 野 糧 祐
県関係	環境生活部県民生活文化課 課長	松 岡 浩 美
	健康福祉部障害福祉課 課長	工 藤 康 成
	県警察本部警務部警務課 課長	山 田 正 昭

医事・衛生専門委員会（11名）

令和2年10月28日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
医療関係	◎公益社団法人青森県医師会 常任理事	中 村 涉
	一般社団法人青森県歯科医師会 副会長	工 藤 眞 裕
	一般社団法人青森県薬剤師会 常務理事	齋 藤 武
	公益社団法人青森県看護協会 常務理事	前 田 隆 子
	日本赤十字社青森県支部 事務局長兼総務課長	近 藤 宏
食品・衛生関係	○一般社団法人青森県食品衛生協会 専務理事	畑 中 和 紀
	青森県保健所長会 会長	齋 藤 和 子
県関係	健康福祉部がん・生活習慣病対策課 課長	奥 村 智 子
	健康福祉部医療薬務課 課長	若 松 伸 一
	健康福祉部保健衛生課 課長	磯 嶋 隆
	環境生活部環境政策課 課長	館 栄

警備・消防専門委員会（8名）

令和2年10月27日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
消防関係	◎青森県消防長会 会長	吉 本 雅 治
	青森地域広域事務組合消防本部警防課 課長	村 上 靖
警察関係	○県警察本部警備部警備第二課 課長	横 浜 光 広
	県警察本部生活安全部地域課 課長	関 重 雄
県関係	教育庁スポーツ健康課 課長	谷 地 村 克 久
	危機管理局防災危機管理課 課長	築 田 潮
	危機管理局消防保安課 課長	山 上 良 一
	健康福祉部障害福祉課 課長	工 藤 康 成

水泳（飛込）競技運営専門委員会（12名）

令和2年12月1日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
競技団体関係	◎青森県水泳連盟 理事長	江 良 直 志
	○一般財団法人宮城県水泳連盟 副会長兼理事長	川 村 清 児
行政関係（県外）	宮城県教育庁スポーツ健康課 課長	鈴 木 秀 利
	利府町教育委員会生涯学習課 課長	大 谷 浩 貴
体育・スポーツ関係	公益財団法人宮城県スポーツ協会 事業企画部長	丹 野 雅 光
	公益財団法人青森県スポーツ協会 総務課長	相 坂 譲
	一般財団法人宮城県水泳連盟 飛込委員長	笠 井 学
	青森県水泳連盟 飛込委員長	佐 々 木 充
警察関係	塩釜警察署 署長	森 克 夫
衛生関係	宮城県塩釜保健所 所長	西 條 尚 男
医療関係	公益社団法人宮城県塩釜医師会 理事	藤 原 竹 彦
消防関係	利府消防署 署長	高 橋 稔

馬術競技運営専門委員会（13名）

令和2年12月1日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
競技団体関係	◎青森県馬術連盟 理事長	佐藤 一馬
	○山梨県馬術連盟 理事長	田中 光法
体育・スポーツ関係	公益財団法人山梨県スポーツ協会 スポーツ振興課長	辻 昌彦
	北杜市スポーツ協会 会長	浅川 幸彦
	公益財団法人青森県スポーツ協会 総務課長	相坂 譲
衛生関係	山梨県中北保健所 所長	津金 永二
警察関係	北杜警察署 次長	田中 宏
市町村関係（県外）	北杜市産業観光部観光課 課長	小林 晋
	北杜市教育部障害学習課 課長	渡辺 美津穂
消防関係	北杜消防署 署長	下條 一仁
県関係	青森県農林水産部畜産課 課長	豊澤 順造
馬事衛生関係	公益社団法人青森県獣医師会 事務局長	盛田 淳三
施設関係	公益財団法人山梨県馬事振興センター 専務理事	鎌田 健義

馬術競技運営専門委員会馬事衛生部会（9名）

令和2年12月21日現在

分野	機関・団体名及び役職名	氏名
行政関係	◎青森県農林水産部畜産課 課長	豊澤 順造
	○山梨県農政部畜産課 課長	渡邊 聡尚
	山梨県西部家畜保健衛生所 所長	丸山 稔
	青森家畜保健衛生所 所長	中村 成宗
獣医師	公益社団法人山梨県獣医師会 理事	野村 努
	公益社団法人青森県獣医師会 事務局長	盛田 淳三
施設関係	公益財団法人山梨県馬事振興センター 専務理事（馬匹診療所長）	鎌田 健義
競技団体	青森県馬術連盟 理事長	佐藤 一馬
	山梨県馬術連盟 理事長	田中 光法

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会常任委員会名簿

委員長 1名、副委員長 7名、常任委員 52名、計 60名

(敬称略)

NO	役職	選出区分	機関・団体名及び役職	氏名	
1	委員長	県	青森県知事	三村 申吾	
2	副委員長	県議会	青森県議会議長	森内 之保留	
3			青森県副知事	青山 祐治	
4		県	青森県副知事	柏木 司	
5			青森県教育委員会教育長	和嶋 延寿	
6			県スポ協	公益財団法人青森県スポーツ協会会長	佐々木 郁夫
7		市町村	青森県市長会会長	小野寺 晃彦	
8			青森県町村会会長	浜谷 豊美	
9	常任委員	県議会	青森県議会副議長	櫛引 ユキ子	
10			青森県議会総務企画危機管理委員会委員長	丸井 裕	
11			青森県議会環境厚生委員会委員長	山谷 清文	
12			青森県議会農林水産委員会委員長	熊谷 雄一	
13			青森県議会商工労働観光エネルギー委員会委員長	夏堀 浩一	
14			青森県議会文教公安委員会委員長	岡元 行人	
15			青森県議会建設委員会委員長	三橋 一三	
16			青森県スポーツ推進議員連盟会長	清水 悦郎	
17			県	青森県病院事業管理者	吉田 茂昭
18				青森県警察本部長	村井 紀之
19				青森県総務部長	鉄永 正紀
20				青森県企画政策部長	橋本 恭男
21				青森県環境生活部長	佐々木 あつ子
22				青森県健康福祉部長	有賀 玲子
23				青森県商工労働部長	相馬 雄幸
24				青森県農林水産部長	坂田 裕治
25		青森県県土整備部長		下村 誠弘	
26		青森県危機管理局長		貝 守	
27		青森県観光国際戦略局長		秋田 佳紀	
28		青森県エネルギー総合対策局長		若木 憲悟	
29		県スポ協	公益財団法人青森県スポーツ協会副会長	岡村 良久	
30			公益財団法人青森県スポーツ協会副会長	江渡 光夫	
31			公益財団法人青森県スポーツ協会副会長	大沢 陽子	
32			公益財団法人青森県スポーツ協会副会長	澤内 和興	
33			公益財団法人青森県スポーツ協会副会長	戸塚 学	
34			公益財団法人青森県スポーツ協会副会長	熊谷 雄一	
35			公益財団法人青森県スポーツ協会副会長	山本 恒太	
36			公益財団法人青森県スポーツ協会副会長	大瀬 良一	
37	スポーツ	青森県スポーツ推進審議会会長	本間 正行		
38		青森県スポーツ推進委員協議会会長	目澤 伸一		
39		特定非営利活動法人青森県スポーツ・レクリエーション連盟会長	相馬 鋳一		
40		特定非営利活動法人青森県障害者スポーツ協会理事長	高杉 勝彦		
41	市町村議会	青森県市議会議長会会長	清野 一榮		
42		青森県町村議会議長会会長	石戸 秀雄		
43	市町村	青森県市町村教育委員会連絡協議会会長	成田 一二三		
44	学校	青森県中学校体育連盟会長	澤田 孝頼		
45		青森県高等学校体育連盟会長	菅原文子		
46		青森県小学校長会会長	鎌田 仁		
47		青森県中学校長会会長	横山 誠之		
48		青森県高等学校長協会会長	穴倉 慎次		
49		青森県私立中学高等学校長協会会長	里村 智彦		
50		産業・経済	青森県商工会議所連合会会長	若井 敬一郎	
51	青森県商工会連合会会長		米内山 正義		
52	青森県中小企業団体中央会会長		櫛引 利貞		
53	一般社団法人青森県経営者協会会長		七尾 嘉信		
54	青森県経済同友会代表幹事		杉本 康雄		
55	公益社団法人日本青年会議所東北地区青森ブロック協議会会長		佐々木 邦和		
56	通信・輸送	公益社団法人青森県バス協会会長	工藤 清		
57	宿泊・観光	公益社団法人青森県観光連盟理事長	奈良 秀則		
58	医療・福祉	公益社団法人青森県医師会会長	高木 伸也		
59		社会福祉法人青森県社会福祉協議会会長	前田 保		
60	社会团体等	青森県地域婦人団体連合会会長	種市 恭子		

